



5

D 23





尋常小學地理書 卷一

文
部
省

目録

第一 大日本帝國	一
第二 關東地方	六
一 區域	六
二 地勢・氣候	七
三 産業	十二
四 交通	十五
五 都邑	十九
六 伊豆・七島・小笠原群島	二十四
第三 奥羽地方	二十六
一 區域	二十六
二 地勢	二十七
三 産業	三十二
四 交通	三十七
五 都邑	四十
第四 中部地方	四十二
一 區域	四十三
二 地勢・氣候	四十三
三 産業	五十二
四 交通	五十九
五 都邑	六十一
第五 近畿地方	六十五
一 區域	六十五
二 地勢	六十五
三 産業	七十二
四 交通	七十八
五 都邑	八十
第六 中國地方	八十五
一 區域	八十五
二 地勢・氣候	八十五
三 産業	九十
四 交通	九十二
五 都邑	九十五
第七 四國地方	九十七
一 區域	九十七
二 地勢	九十七
三 氣候・産業	九十九
四 交通	百一
五 都邑	百三
第八 九州地方	百四
一 區域	百四
二 地勢	百四
三 産業	百十二
四 交通	百十六
五 都邑	百十九
六 薩南諸島・琉球列島	百二十
附録	一

尋常小學地理書卷一

第一 大日本帝國

我が國の領土・四圍

我が大日本帝國はアジア洲の東部にあつて、日本列島と朝鮮半島から成立つてゐる。日本列島は北東から南西へ凡そ五千キロメートルにわたつて、太平洋の中に連なつてゐる大小あまたの島々である。その中、殊に大きいのは本州、北海道、本島、樺太、南部、四國、九州、臺灣である。小さい島々の中では九州と臺灣との間に並んでゐる琉球列島、北海道本島の北東に並んでゐる千島列島が主なものである。又本州の南方には伊豆七島、小笠原群島がある。

以下 開き不良

面積
地勢・気
候・産業・
交通

朝鮮半島はアジア大陸の東部の一大半島で、北から南にかけて長さ約一千キロメートル、北は満洲及びシベリヤについでいてゐる。

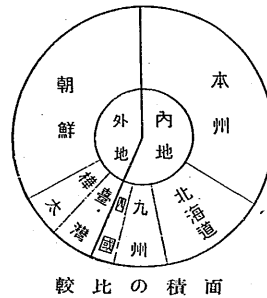
日本列島の北東から南西にかけてはオホーツク海、日本海、黄海、東支那海があつて、これらの海をへだててシベリヤ、満洲及び支那がある。日本列島の南から東にかけてはフィリピン群島、我が南洋群島及びハワイ諸島、その他の島がある。又太平洋をへだてて東にアメリカ合衆國がある。

我が國の總面積は凡そ六十七萬五千平方キロメートルで、本州と朝鮮半島とは各その約三分の一に當つてゐる。我が國は北東部には寒さのきびしい處があり、南西部に

は暑さのきびしい處がある。しかし、大部分は氣候が温和で、雨量がゆたかて地味が肥えてゐる。それ故、一般に山が多く平地が少いのかゝはらず、種々の農産物が出来る。森林地が多いので林産物も少くない。又處々から鑛産物も出る。

川は大てい狭くて短く、且流が急で、交通上の便は少いが、灌漑や發電には利用されてゐる。近海には暖流や寒流がある。水産物がたくさんとれる。

したがつて農業、林業、鑛業、水産業がそれぐ相當に發達してゐるのみならず、工業も發達し、内外各地の原料を使用して、盛に種々の工業品を造つてゐる。これと共に商業



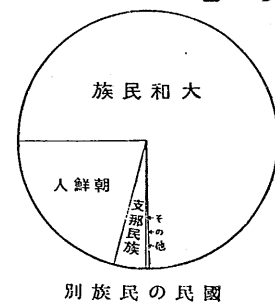
國民



人土の灣臺

も發達して、諸外國との貿易も盛である。又道路、鐵道、航路も開け、郵便、電信、電話なども行きわたつてゐて、内外の交通が海陸共に便利である。

國民の總數は約一億で、その大部分は大和民族であるが、朝鮮には約二千三百萬の朝鮮人、臺灣には約五百萬の支那民族と、十餘萬の土人とがある。又北海道には少數のアイヌ人、樺太には少數のアイヌ人とその他の土人がゐる。諸外



行政區劃



人土の太樺

國に移住してゐる大和民族は約百萬である。

行政上、本州、四國、九州及びこれらに屬する島々を三府四十三縣に分け、これを治めるため府には府廳、縣には縣廳を置いてゐる。その他、北海道、本島、千島列島を北海道として、こゝに北海道廳を置き、樺太には樺太廳、朝鮮臺灣にはそれぞれ總督府を置いてゐる。

我が國にはこの外に滿洲國から租借してゐる關東州がある。又世界大戰の結果我が國が統治してゐる南洋群島

がある。關東州を治めるために關東州廳、南洋群島を治めるために南洋廳を置いてゐる。

我が國の政府は東京にある。

今便宜のため本州を關東、奧羽、中部、近畿、中國の五地方に分け、これに四國、九州、北海道、樺太、臺灣、朝鮮の各地方を加へて、全國を十一地方に分ける。

地方區劃

第二 關東地方

一 區域

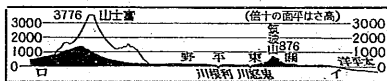
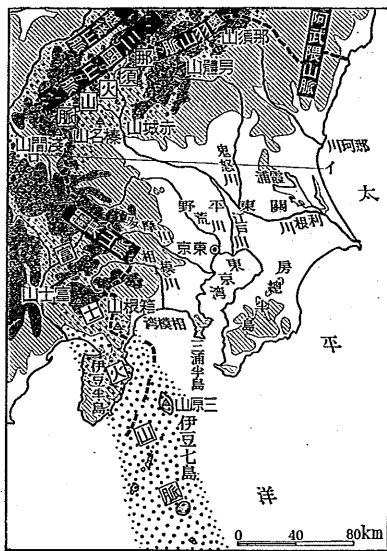


南洋の土人

地勢

東京府と神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城の六縣の區域を關東地方といふ。

二 地勢氣候

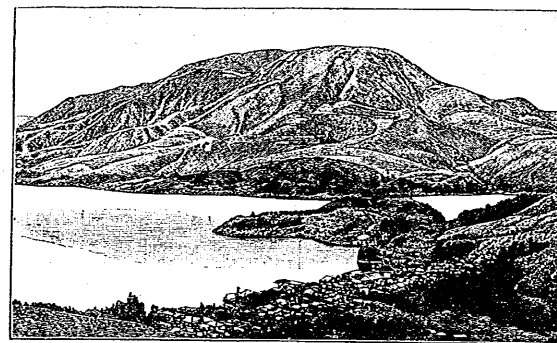


關東地方の地勢と断面圖

關東地方は我が國で最も廣い關東平野がその主要部をなし、その北部から西部にかけては一帯の山地で、三國山脈や關東山脈が奥羽中部兩地方の境界地帯をなし、東部と南部とは太平洋に面してゐる。

山

北部の山地には那須火山脈が通つてゐて、那須男體赤城、榛名の諸火山があり、西部の山地には富士火山脈に屬する箱根火山がある。これらの火山



箱根火山

地方は景色もよく、温泉も多いので、保養遊覽に適してゐる處が多い。中でも塩原日光、伊香保、箱根が名高い。



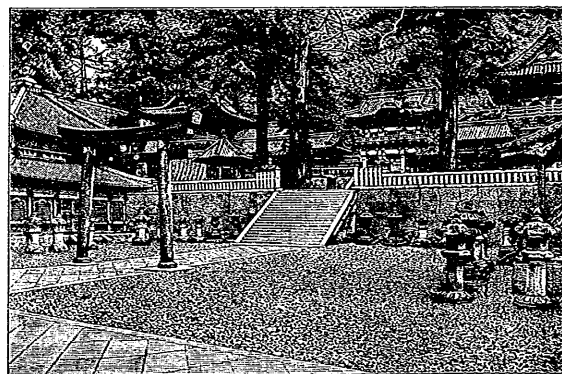
箱根火山の地形

地形一

地形一

川

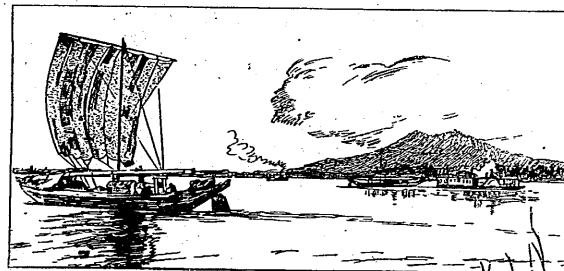
日光は有名な東照宮のある處で、自然の美と人工の美とを兼ね、その名は外國へまでも聞えてゐる。



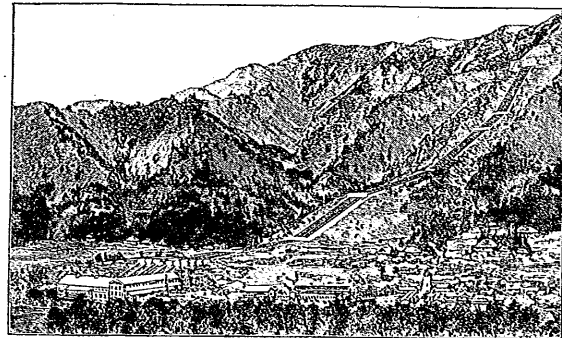
日光の東照宮

川は主に北部西部の山地から出て、關東平野をゆるやかに流れ、東京灣又は相模灣にはいる。或はたゞちに太平洋にはいる。那珂川、利根川、荒川、多摩川、相模川等が主なもので、大てい上流は發電に、下流は灌漑に利用されてゐる。中でも、利根川は關東平野の中央を貫流し、流域が最も廣く、水量が豊かで、下流

は霞浦や江戸川などと水運が相通じてゐて、古來舟運の便が開けてゐる。



水力電氣で殊に名高いのは利根川と相模川とで、その電氣は主として東京に送られて各種の動力や電燈に用ひられてゐる。又多摩川の水は東京に、相模川の水は横濱にひか



利根川の流上にあつて発電所

平野

海岸

氣候

れて、市民の飲料水や用水となつてゐる。

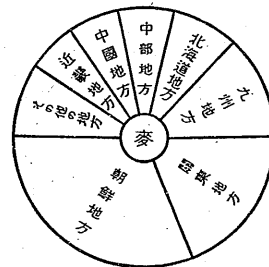
關東平野は傾斜のゆるやかな臺地と諸川の沿岸にある低地とから成り、土地がよく開け、諸種の産業が盛である上に、交通が便利で、人口も亦極めて密であつて、我が國の文化の一中心地となつてゐる。

東部の太平洋方面には犬吠崎が突出してゐるばかりで、海岸線は單調であるが、南部は房總三浦の二半島があつて東京灣をかこみ、三浦半島の西には相模灣が入り込んでゐる。

氣候は一般に温和である。南部の海岸地方は海洋性の氣候で、房總半島の沿岸は冬季殊に暖かい。雨は夏季に多く、冬季に少い。

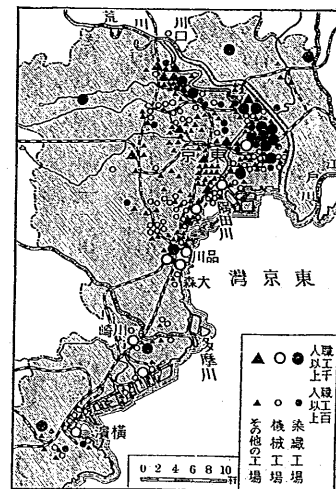
三 産業

關東平野は廣さに於いて我が國第一の大平野で、各種の産業が發達してゐるが、殊に盛なのは農業と工業とである。低地には水田がよく開



比較の額の産の麥
(年九和昭) 額萬百五千六約

け、米の産額が多いが、東京や横濱の如き大都市があり、人口が密であるため、なほ不足するので、他の地方からはいつて来るものも少くない。臺地は主として畑地で麥とつまいも



布分の場の工の帯地業工濱京

臺地一

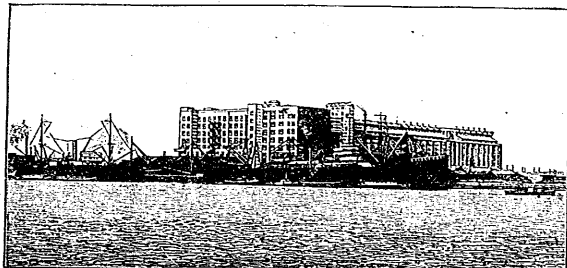
臺地一

工業

野菜等の産額が多い。中でも麥はその産額が多く、我が内地の麥の總産額の約四分の一を産する。又この平野の北東部及び南西部では煙草を産し、その産額は我が國第一である。

關東平野の北西部及び西部の山麓地方では養蠶業が盛で、繭の産額が多く、製絲業絹織物業も亦盛である。前橋、高崎、富岡、熊谷、栃木等は製絲で、桐生、足利、伊勢崎、八王子、秩父、川越等は絹織物で名高い。

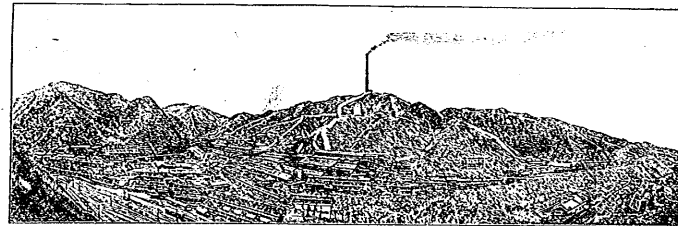
東京から川崎横濱に至る、いはゆる京濱地方は海陸の交通が便利で、動力や



場工粉製

鑛業

勞力が得易いから我が國で工業の最も盛な地方の一で、京濱工業地帯と呼ばれ、繊維工業、機械工業、化學工業、食料品工業等各種の工業がそれ／＼新式の工場に於いて盛に行はれてゐる。
商業も亦東京・横濱の二大都市を中心として盛に行はれてゐる。
關東地方には足尾・日立の二大鑛山があつて、共に大きな製鍊所を有し、他の鑛山の鑛石をも合せて製鍊してゐる。その製鍊高は兩鑛山共銅が第一で、金銀も少ない。又常磐炭田は關東・奥羽兩地方に跨



日立鑛山

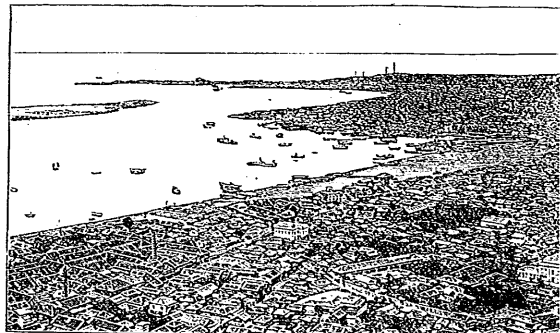
漁業

陸上の交通

つてゐる炭田で、石炭の産額が多い。
近海には暖流があつて、水産物が多いから、漁業も盛で、いわし・まぐろ・かつを等が多くとれる。主な漁港は三浦半島の南端の三崎と利根川の川口にある銚子である。又東京灣の北部では浅瀬を利用して盛にのりを養殖してゐる。

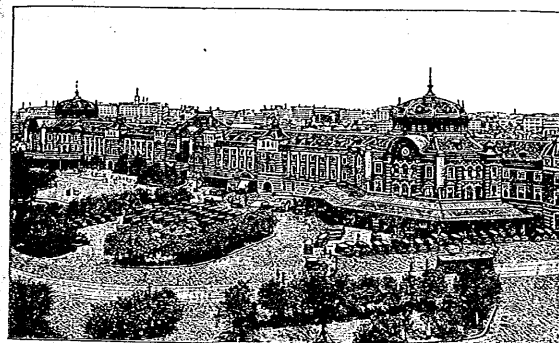
四 交通

關東平野は産業が盛で、人口も密であるから陸上の交通は非常に發達してゐる。



銚子港

我が國の鐵道の幹線の一部である東海道本線と東北本線とは、共に東京を起點としてゐる。東海道本線は西の方



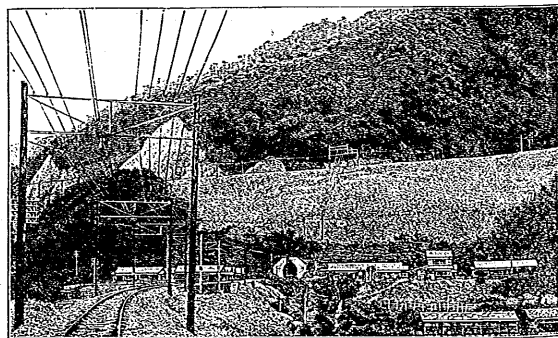
東京驛

横濱・名古屋・京都・大阪等の大都市を通つて神戸に至り、山陽本線に接續し、東北本線は東京から東北に向ひ、仙臺を過ぎて青森に達する。この外、東京から中部地方の山地を通つて名古屋に至る中央本線があり、又東京から北東部の海岸を通つて奥羽地方にはいり東北本線と合する常磐線がある。なほ大宮・高崎間には高崎線があり、

高崎からは信越本線があつて、直江津・新潟に、又上越線があつて新潟に通ずる。

東海道本線中央本線信越本線上越線が山地を越える處にはトンネルが多い。中でも上越線の清水トンネルは我が國第一の長いトンネルである。又信越本線の碓氷峠では傾斜が殊に急なので、線路に齒止めを設けてゐる。

又電車自動車も近年著しく發達し、殊に自動車は道路の改修と共に、その利用が益々盛になつて來た。又東京には地



清水のセントラルの側の入口

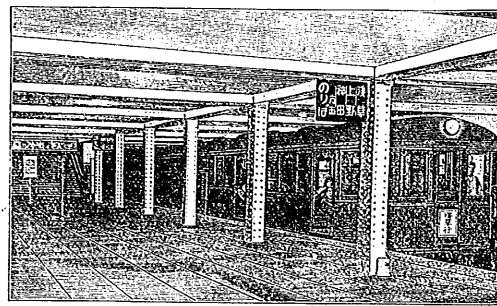
海上の交

下鐵道もある。

海上の交通は東京灣方面に發達し、横濱港には内外國の汽船がたえず出入し、南北兩アメリカ洲支那印度マレー諸島ヨーロッパオーストラリヤ等、世界各地に航路が通じてゐる。又東京港は沿岸航路の中心をなしてゐる。

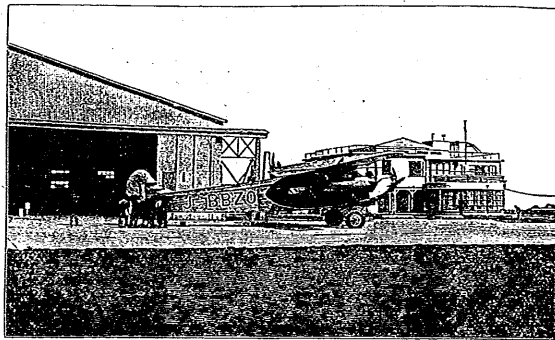
航空

東京は我が國の航空路の中心で、主な航空路は東京を起點として名古屋大阪福岡京城等をへて大連に至つて滿洲の航空路と連絡するものと、福岡から臺灣に至るものがあり、又仙臺青森をへて札幌に



東京の地下鐵道

通信

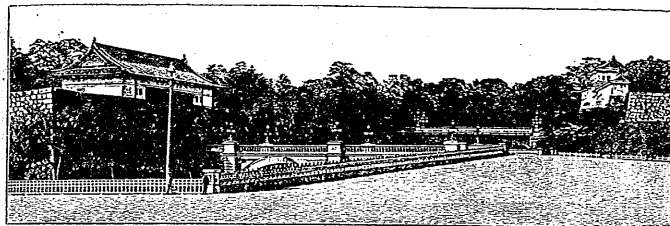


羽田の飛行場

至るものがある。なほ東京から新潟や富山に至るものもある。郵便電信電話は東京を中心として廣く各地に通じ、通信は益、便利に且迅速になつた。海底電線や無線電信も東京から遠くアメリカ合衆國や南洋方面と通信してゐる。

五 都邑

關東平野は産業や交通が發達し、人口が密であるから、都邑も極めて多い。殊に東京灣沿岸の平地や北部の山麓地帯には重要な都邑が多い。



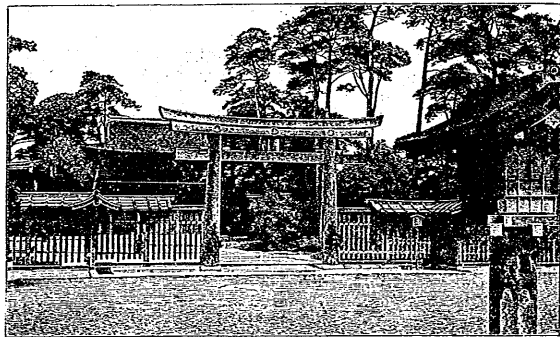
城

東京は我が國の首府で、東京灣沿岸の低地から西方の臺地にわたつて廣い地域を占め、全市を三十五區に分けてゐる。人口は凡そ六百萬、世界屈指の大都會である。宮城をはじめとして明治神宮や靖國神社がある。又内閣・諸官省・日本銀行など政治・經濟上の中央機關は皆ここに集つ

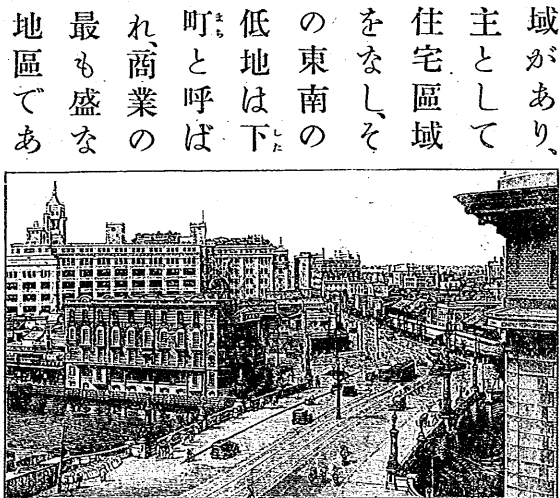


堂事議るた見りよ内門田櫻

てをり、帝國議會の議事堂、東京府廳、諸外國の大使館公使館もここにゐる。西部の臺地方面には山手と呼ばれる地域があり、主として住宅區域をなし、その東南の低地は下町と呼ばれ、商業の最も盛な地區である。



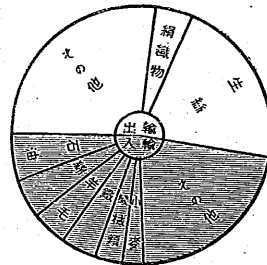
宮 神 治 明



街 市 の 京 東

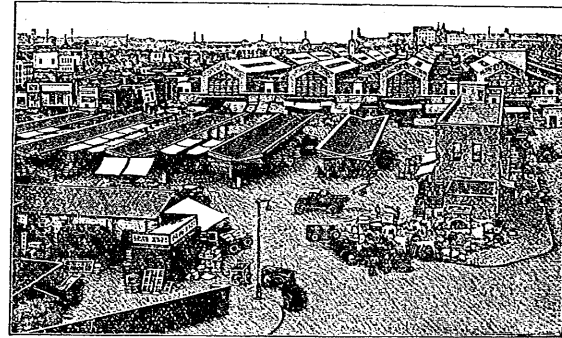
る。又荒川の下流の沿岸から東京灣の沿岸にかけての一帯の地域は京濱工場地帯の一部で、あまたの工場が立並んでゐる。

又東京帝國大學をはじめ各種の學校や博物館圖書館等があつて我が國に於ける學術の中心地を

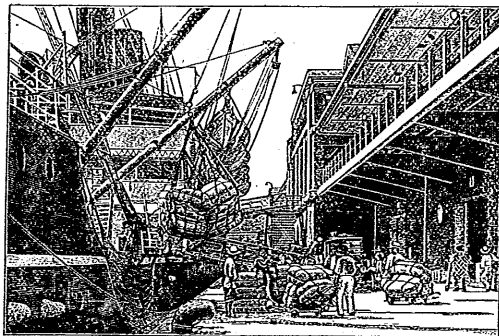


圖較比入出輸港濱橫
(年九和昭) 圓億五約額出輸
(年九和昭) 圓萬千六億四約額入輸

第一である。多摩川の川口にある羽田は飛行場として名高い。

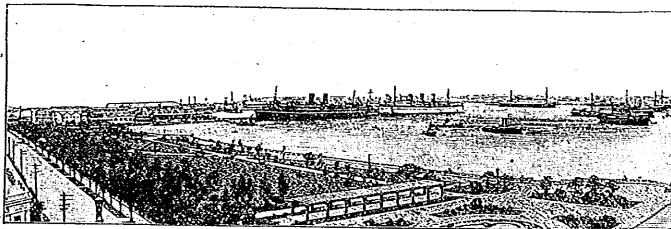


場市の京東



岸船繫の港濱横

横濱は人口約七十萬縣廳の所在地である。神戸・大阪と共に我が國の三大貿易港の一つで、防波堤、棧橋、繫船岸など港の設備がよくととのひ、内外國の大きな汽船も自由に出入することが出来る。我が國の重要輸出品である生絲は大ていこから積出されて、主としてアメ



港濱横

その他

リカ合衆國へ送られてゐる。輸入品の主なものは石油綿羊毛鐵である。工業も亦盛である。千葉浦和・前橋・宇都宮・水戸は縣廳の所在地である。浦和に近い大宮には大きな鐵道の工場があり、川口は鑄物工業の盛な處である。八王子の附近には大正天皇の御陵があり、千葉の北東にある成田は不動尊で名高い。又野田と銚子とは共に醬油の釀造地として知られてゐる。横須賀は名高い軍港で海軍の大きな工場もある。鎌倉は歴史に名高い處で、附近の江島と共に遊覽地として知られてゐる。平塚は近年發達した工業都市である。

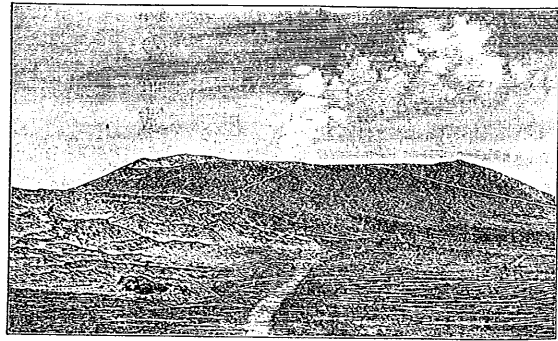
六 伊豆七島小笠原群島

大島・八丈島等の伊豆七島・父島・母島等の小笠原群島は相

模灣の南に當つて長く南北に並んでゐる太平洋上の島々で、共に東京府に屬してゐる。富士火山脈に當つてゐるので火山が多く、中でも大島の三原山は有名な活火山である。

これらの諸島は位置が南方にある上、暖流の影響もあつて、氣温が高く、小笠原群島は殊に暖かく、さうきびを産する。近海は魚類が多いので漁業も盛である。

父島の二見港は群島中唯一の良港で、我が内地と南洋群

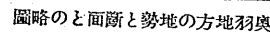


山 原 三

六六六

區域

と



いふ

山

第三 奥羽地方 地勢

脈中には猪苗代湖十和田湖等の著名な湖がある。
東にある山脈は仙臺灣によつて南北の二つに分れ、北に

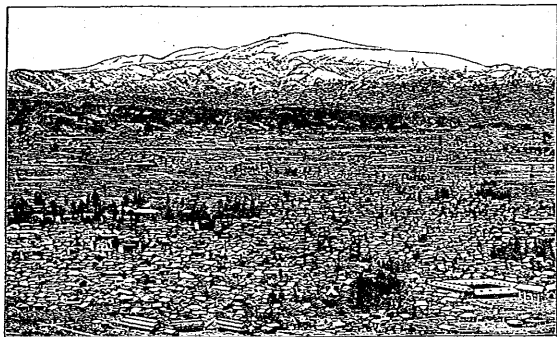


湖 田 和 十

あるのを北上山脈といひ、南にあるのを阿武隈山脈といつてゐる。いづれも高原状になつてゐて、あまり高くない。北上山脈の南の端は牡鹿半島となつて仙臺灣の東を限つてゐる。西にある山脈は處處で切れてゐるが、大體一系の山脈をなしてゐる。その南の部分は越後山脈といつて高いが、北の部分は出羽丘陵といつてあまり高

川

くない。この山脈にも一つの火山脈が通つてゐて、岩木山、鳥海山、月山などの火山がある。



山 月 と 形 山

中央の奥羽山脈と東の北上阿武隈の兩山脈との間には北上川と阿武隈川があつて、共に太平洋にはいる。北上川の下流から阿武隈川の川口に至る間に仙臺平野がある。奥羽山脈と西の山脈との間には處々に盆地があつて、その間に米代川、雄物川、最上川、阿賀川等が流れ、いづれも日本海にはいつてゐる。

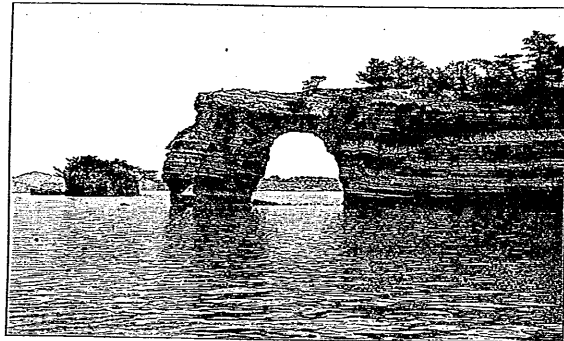
海岸

これらの川の沿岸は陸上交通の要路に當り、その水は灌漑や發電に利用される。又これらの川の沿岸は産業も盛んで都邑も多い。阿賀川の水源である猪苗代湖はその西にある會津盆地に比べると三百メートルも高い處にあるので、こゝから流れ出る水を利用して發電所が出来てをり、その電氣は主として遠く東京に送られてゐる。又猪苗代湖の水は疏水運河によつて東の方郡山附近の平地に送られ灌漑にも用ひられてゐる。

太平洋方面の海岸は小さな出入が多く、處々に良灣があるが、北上山脈が海岸にせまり、地勢が急峻で、平地も少ないから、陸上の交通も不便で、産業もまだ十分に發達してゐない。それ故、これらの良灣も漁港としては利用されてゐる。

るが、商港としてはまださほど利用されてゐない。

仙臺灣の一部には松島灣がある。この灣内には松の茂つ



た大小あまたの島々が散在してゐて、景色が甚だ美しい。

日本海の海岸には男鹿半島が突

松

出してゐて、八郎潟を包んでゐる

が、その他は海岸線の出入が少く、

又砂濱が長くつゞいてゐるので、

島

自然の良港が少い。

北部には下北津輕の二半島があ

つて、陸奥灣をかこんでゐる。灣内

には商港の青森や海軍の要港の

大湊がある。下北津輕の二半島と北海道本島との間には津輕海峡がある。津輕海峡は交通上、大切な處である。

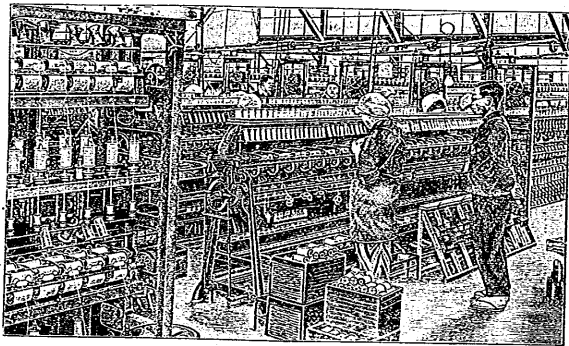
三 産業

この地方第一の産業は農業であるが、耕地が割合に少く、気温が一般に低いから、その産額は多くない。しかし、山林原野は殊に多いので、林業牧畜は比較的盛である。又、礦物が多いので、處々でこれを採掘してゐる。

農業は主な川の沿岸の平地に發達してゐる。農産物の中、米は最も主なもの、その主産地は最上川や雄物川の沿岸の平地と仙臺平野とである。又大豆、じゃがいも、りんごの産額も少くない。りんごの主産地は弘前附近である。養蠶業の盛なのは阿武隈川や最上川の流域で、製絲業、絹

農業・工業

牧畜



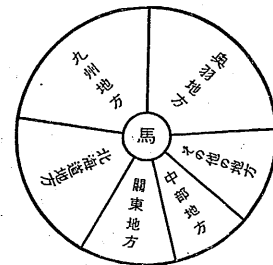
米澤の絹織物工場

沿岸にある米澤は絹織物の産地として著名である。太平洋方面には原野が多く、馬の牧畜



岩木山とりんご

が甚だ盛で、處々に馬市が開かれる。盛岡や白河の馬市は殊に著名である。

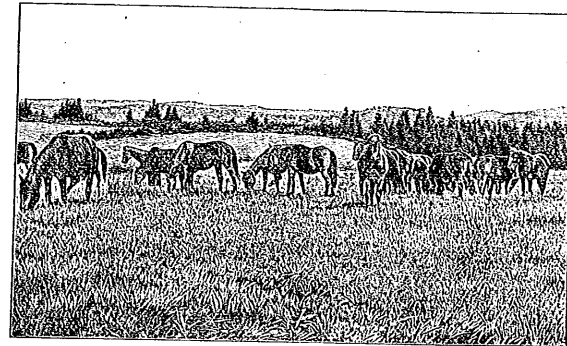


馬の頭数の比較
(昭和九年) 約十五萬頭

日本海方面の山地には森林が多く、木材の産も多い。殊に米

代川流域の杉は著名で、したがって、この川の沿岸では製材業が盛で、その中心地は能代港である。

鑛業はこの地方の重要な産業の一である。米代川の流域

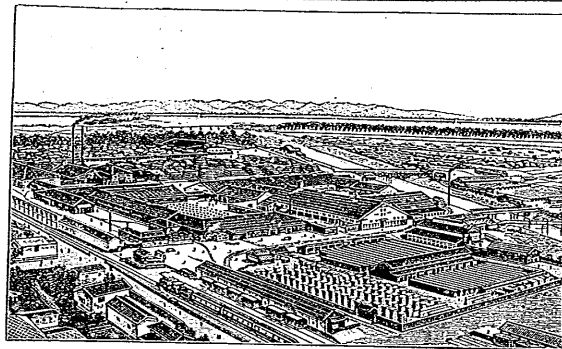


白河附近の牧場

林業

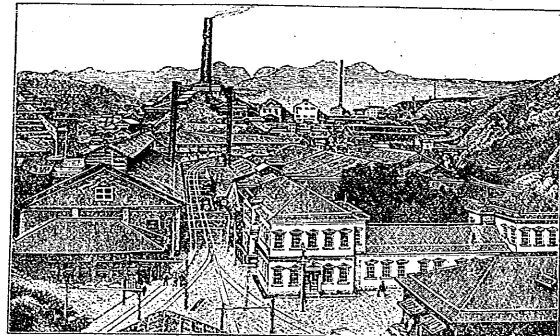
鑛業

と雄物川の流域には銅金銀の鑛山が多く、殊に小坂鑛山は我が國屈指の大鑛山である。又秋田を中心とする雄物



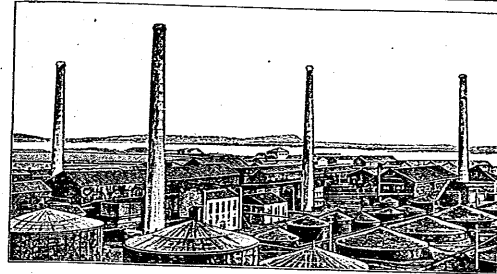
能代港の製材所

川の下流の地方の新油田は、新潟縣の油田と共に我が國の二大石油産地で、その石油は主に土崎



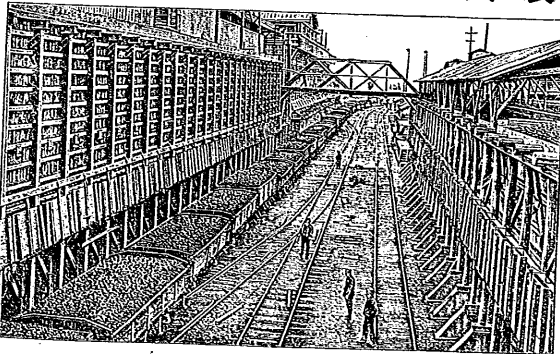
小坂鑛山

水産業



土崎港の製油所

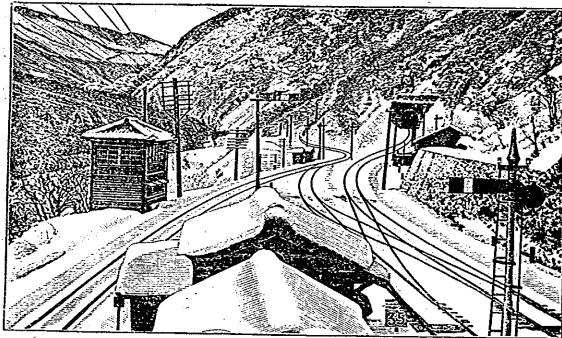
港にある製油所で精製される。又東海岸の釜石の附近にある鐵山は、我が内地で鐵鑛の産額が最も多い處で、その鑛石は大い釜石の製鍊所で製鍊される。阿武隈山脈の南部にある炭田は常磐炭田の北の一部に當り、平はその中心をなしてゐる。



常磐炭田の石炭の積み込

太平洋方面の

陸上の交通

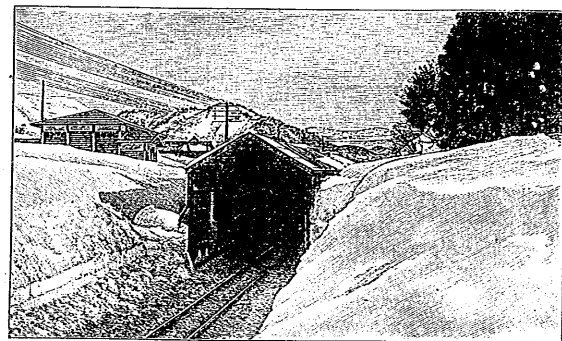


奥羽本線の駅

近海遠洋は水産物が多く、又海岸は漁港に適するから漁業が盛である。又この海岸地方ではかつをぶしやいわしのしめ粕がたくさん出来る。

四 交通

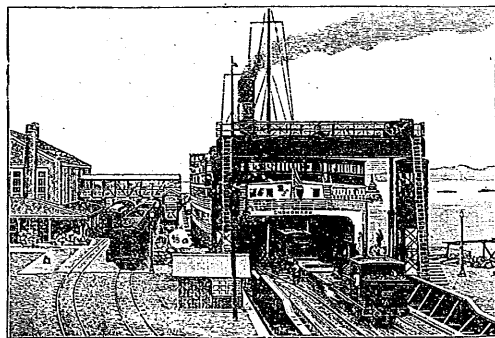
この地方の主な鐵道はほぼ南北に通じてゐる。太平洋方面には東北本線があり、日本海方面には奥羽本線・羽越本線がある。東北本線・奥羽本線はいづれもこの地方の主な川の沿岸の平地を通つて大きい町々の連絡をとつてをり、羽越本線は奥羽本線と信越本線と



雪よけトンネル

の連絡をとつてゐる。
東北本線は本州の鐵道の幹線の
一部であつて、阿武隈川の下流の
流域で常磐線と合し、仙臺に至り、
北上川にそつて北に進み、盛岡を
へて青森に至る。奥羽本線は福島
に起り、奥羽山脈を横ぎり、最上川
の沿岸の米澤・山形・雄物川の沿岸
の秋田をへて青森に達する。この
線が奥羽山脈を横ぎる處にはト
ンネルが多く、又傾斜も急である。羽越本線は秋田から日
本海沿岸を通つて新潟に至るものである。

東北本線・奥羽本線・常磐線・羽越本
線・信越本線などを連絡するため、
ほゞ東西に通ずる諸線がある。そ
の中、主なものは平から郡山・若松
をへて新潟に達する線と、石巻か
ら酒田に至る線とである。



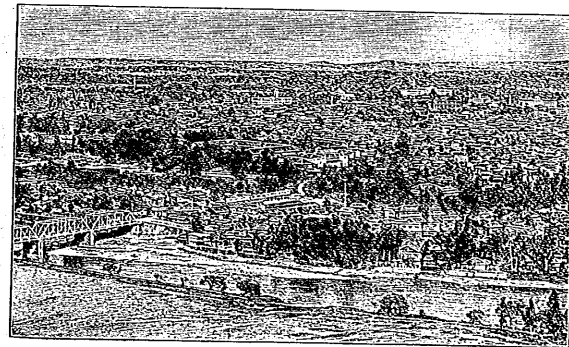
青森港に於ける連絡船

奥羽地方は冬季、雪が深いので、鐵
道には處々に雪よけトンネルを
設けてゐるが、それでもなほ積雪
のために汽車の交通がさまたげられることがある。殊に
日本海方面は積雪が多いので、汽車の故障も少くない。
海上の交通は良港が少いので、あまり發達してゐない。殊

に日本海沿岸は冬季、風波が荒く雪が多いので、船の交通が不便である。しかし、近年、處々の港で設備の改良が計られてゐる。青森は北海道に連絡する重要な港で、鐵道連絡船も往來してゐる。

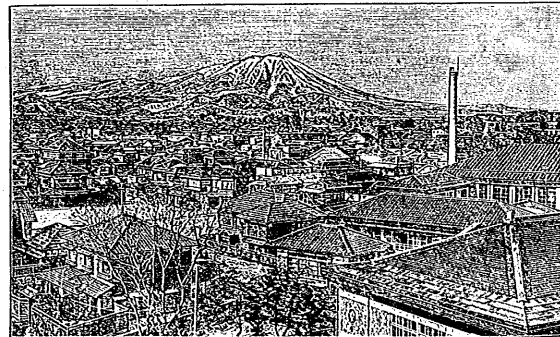
五 都邑

奥羽地方は面積が大きい割合に人口が少いので、都邑の發達も他の地方のやうに著しくない。しかし、三列の山脈の間にある平地と諸川の下流の平地とは産業が發達し交通も便利であるから、人口



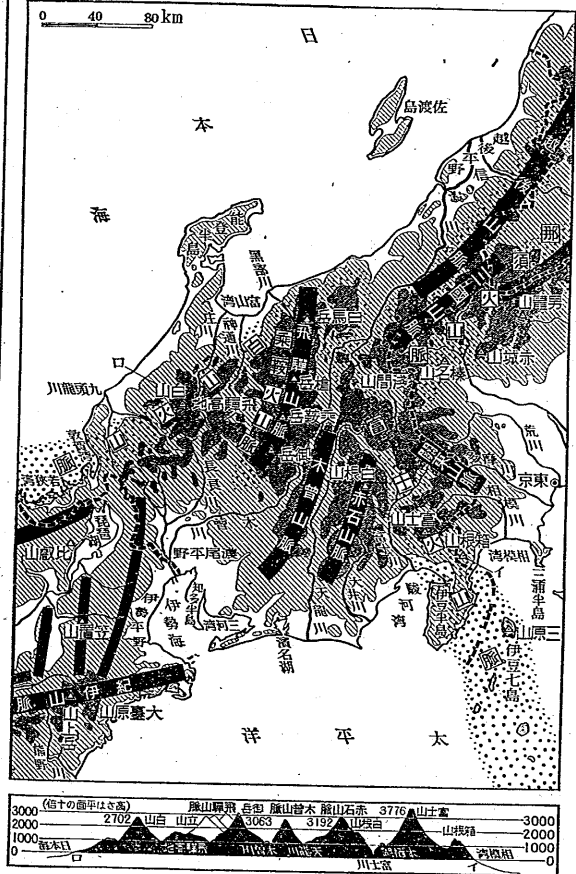
仙臺の市街

が密で、都邑も多い。主な都邑は大てい東北本線或は奥羽本線にそつてゐる。東北本線の沿線では郡山、福島、仙臺、盛岡、青森、奥羽本線の沿線では米澤、山形、秋田、弘前が主なものである。仙臺は奥羽地方第一の都會で、縣廳の所在地であり、又東北帝國大學がある。福島、盛岡、青森、秋田、山形はいづれも縣廳の所在地であり、若松は會津盆地の中心をなす都會である。又最上川の川口の酒田及びその南にある鶴岡は庄内平野の主な都會である。



盛岡と岩手山

第四 中部地方



中部地方の地形と断面図

一 区域

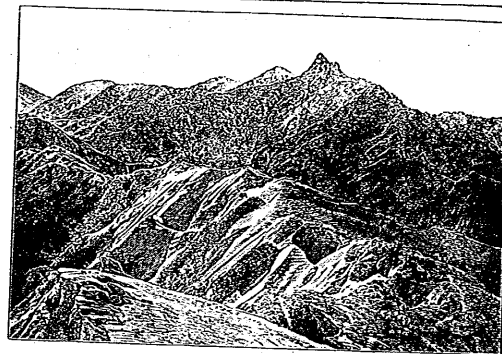
静岡・愛知・岐阜・山梨・長野・新潟・富山・石川・福井の九縣の區域を中部地方といふ。

二 地勢氣候

中部地方は本州の中で最も幅の廣い處であつて、その中央部には飛驒・木曾・赤石の三大山脈がほぼ南北に相並んでゐる。これらの山脈は我が内地の中で最も高くけはしい處で、中部地方の主な分水嶺となつてゐる。これらの大山脈の間や、その北西の飛驒高地には深い大きな谷があつて、それらに大きな川が流れ、或は南の方太平洋にはいり、或は北の方日本海にはいつてゐる。飛驒山脈は最も高峻雄大で、槍岳・白馬岳などの山々がそ

山

地勢



望遠の岳楡

の中にそびえてゐる。又この山脈にそつて乗鞍火山脈が通つてゐて、御岳乗鞍岳立山等の高い火山もある。これらの山々はいづれも極めて高く、けはしいから、その景色がいかに雄大である。山上には夏でも雪がとけきらないで、いはゆる雪溪をつくつてゐる處もある。赤石山脈は飛驒山脈にとらぬ高い山脈で、その中の白根山は我が内地では富士山に次ぐ高峯である。木曾山脈は飛驒山脈と赤石山脈との間にあつて、駒岳がその主峯である。



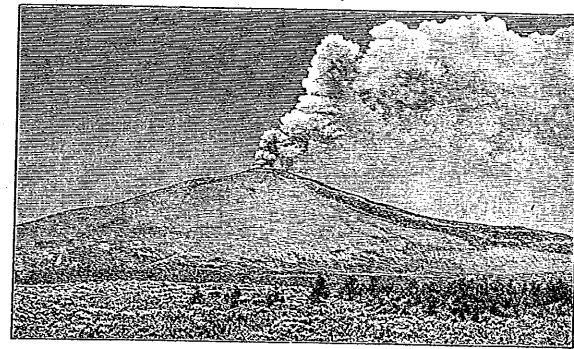
富士山

中部地方の東部には富士火山脈が南北に通つてゐて、その脈は南方伊豆七島をへて遠く小笠原群島にも及んでゐる。この火山脈の主峯である富士山は高さ三千七百七十六メートル、内地第一の高峯で、四時雪をいたゞき、なだらかな裾野を引いて駿河灣の沿岸にそびえてゐる美しい姿は、まことに我が國第一の名山たるにはぢない。なほこの地方には東の境にあつて、たえず煙を噴いてゐる浅間山や、飛驒高地の西にそびえてゐる白山など名高い火山がある。

川・平地

これらの火山のある處には温泉が多い。中でも伊豆半島の熱海・修善寺が最も名高い。

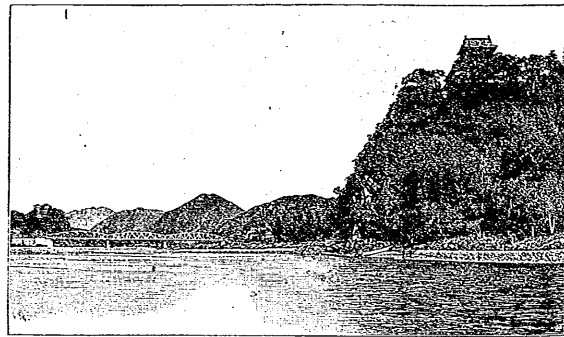
太平洋方面の主な川は木曾川・天龍川・大井川・富士川である。その中、天龍川はたゞちに太平洋にはいつてゐるが、富士川・大井川は駿河灣にはいり、木曾川は伊勢海にはいつてゐる。木曾川は鵜飼で名高い長良川やその他の川と共に濃尾平野を灌漑してゐる。この平野は關東平野に次ぐ大平野で、農業が盛であるばかりでなく、交通も便利で、商工業



浅間山

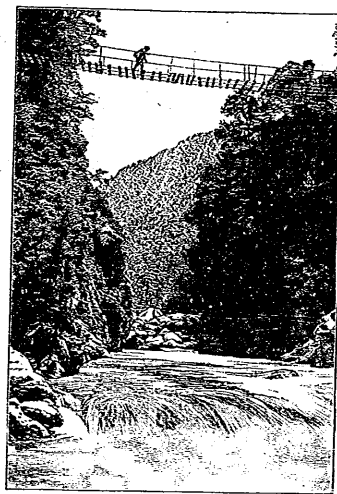
も發達してゐるから、名古屋をはじめ一宮・岐阜・大垣等あまたの都會が出來てゐる。

日本海方面の主な川は信濃川・黒部川・神通川・庄川・九頭龍川である。中でも信濃川は本州第一の大川で、長さ約三百七十キロメートル、その流域の面積も廣く、殊に下流域にある越後平野は濃尾平野に次ぐ大平野である。又黒部川・神通川・庄川の下流にある富山平野も重要な平野である。これら太平洋方面と日本海方面の諸川の多くはいづれ



木曾川

海岸



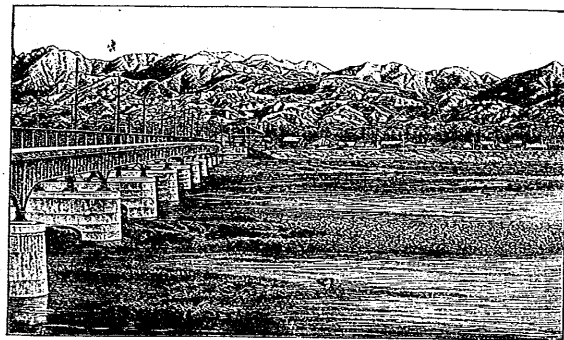
黒部川のつり橋

も我が國屈指の大川であるが、その流が早いので、水運にはあまり便利でない。しかし灌漑や発電に利用されてゐる。したがつて沿岸處々の平地には各種の産業が發達し、交通も便利であるから、都邑も多い。又これら諸川の上流は水力發電に利用され、大小あまたの發電所がある。その中、殊に著名なのは木曾川と信濃川である。

太平洋の沿岸には東に伊豆半島があつて駿河灣の東を限り、西に知多渥美の二半島があつて伊勢海と三河灣と

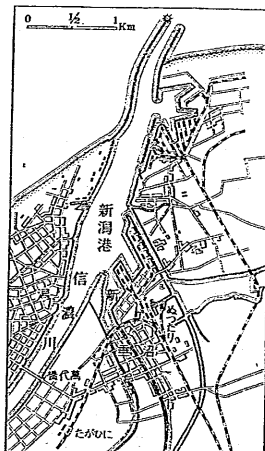
地一

を抱いてゐる。伊勢海の沿岸の名古屋は神戸・横濱・大阪につぐ大きな港である。又駿河灣の沿岸の清水も名高い港である。これら兩港はいづれも産業の盛な地方にあつて、陸上の交通も便利であるから、船の出入も多く、商業もはんじやうしてゐる。駿河灣と渥美半島との間には濱名湖があるばかりで、海岸線の出入が少く良港もない。



富山と神通川

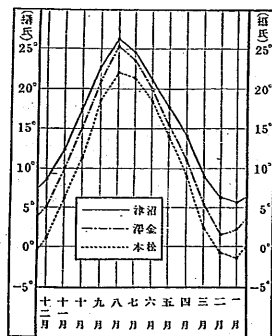
日本海の沿岸には南西部に若狭灣がある。この灣の沿岸



新潟港の圖

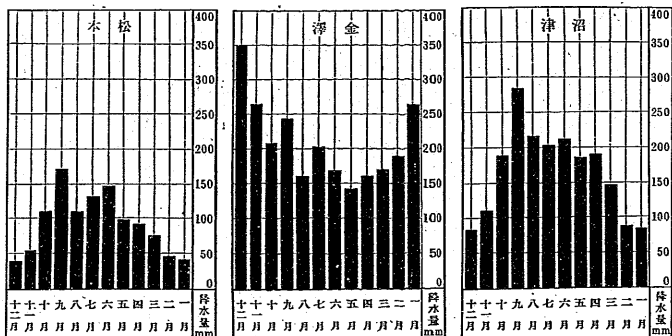
には小さな灣が多くて敦賀の良港がある。中央の部分は能登半島が突出てゐる。その東岸に七尾があるが、その他の部分は海岸線の出入が少い上に、砂濱が多くて、自然の良港にとほしい。新潟伏木の兩港は日本海方面での重要な港であるが、共に海岸の港ではなく、川口を利用したものである。

中部地方には太平洋方面も日本海方面も、近海に島が極めて少い。大きいのは日本海の佐渡島だけ



新潟・金沢・松山の温度

氣候



新潟・金沢・松山の降水量

である。

太平洋の沿岸地方は北に山があつて、冬の北西風をさえぎり、南は暖流の流れてゐる海に面してゐるため、氣候が温和で、處々に保養地がある。又この方面では夏は雨が多く、冬は晴天が多い。

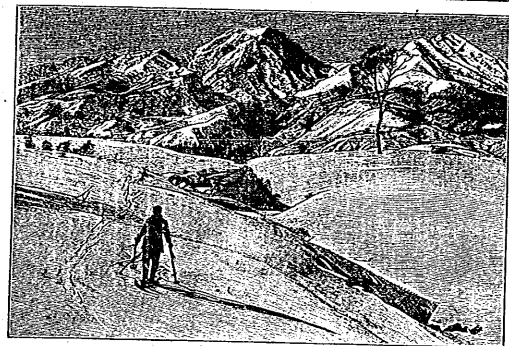
日本海の沿岸地方は冬に雨雪が多いから、交通にも産業にも不便が多い。

中央部の山地は地勢の影響で雨が少く、又海岸地方に比べると冬

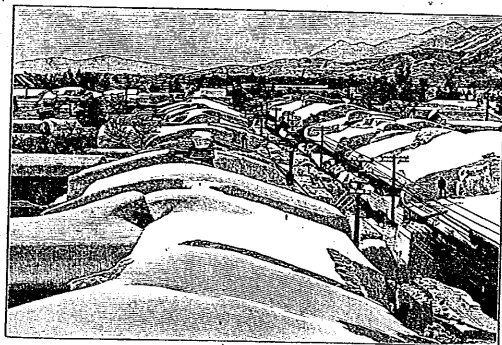
の寒さがきびしい。

三 産業

中部地方の海岸地方や、大きな川の下流の流域には色々



な産業が盛であるが、中でも太平洋方面の海岸の地方は農業工業商業がいづれも極

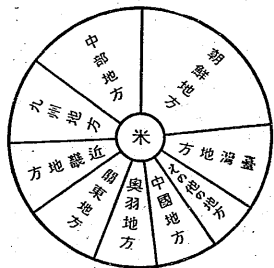


雪の高田の市街

農業

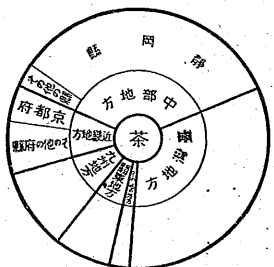
めて盛であつて、大きな都邑も發達してゐる。又中央部にも處々に盆地があつて農業や工業が發達してゐる。山地には林業の盛な處もある。

太平洋沿岸の濃尾平野と日本海沿岸の越後平野とはいづれも我が國の主要な農業地帯であつて、殊に米の産額が多く、名古屋と新潟は米の主な集散地となつてゐる。又濃尾平野には麥や野菜の産額も多い。静岡縣の海岸地方



較比の額産の米
(年九和昭) 額萬千四億一約

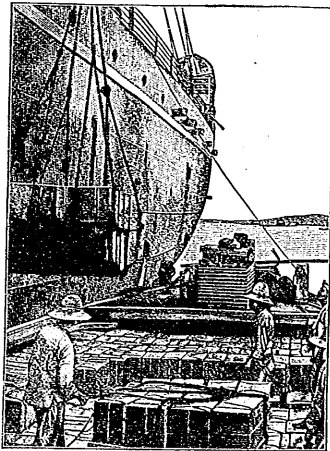
は温暖であるから、茶、蜜柑の産が多く、静岡は茶の精製取引が盛である。



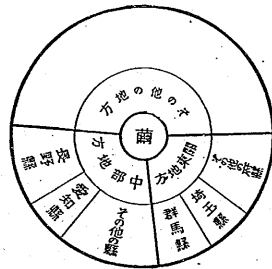
較比の額産の茶
(年九和昭) 額萬百四千三約

茶は清水から主としてアメリカ合衆國へ輸出される。

中部地方は我が國で養蠶業の最も盛な地方で、中部の諸盆地及び濃尾平野とその附近一帯によく行はれ、長野・愛知の二縣は繭の産



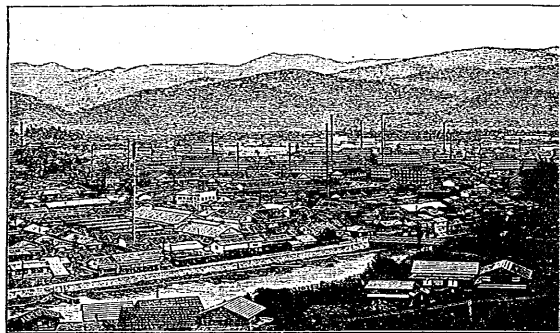
し出積の茶るけに港水清



繭の産額の比 (年九和昭) ムラグロキ萬千五億三約

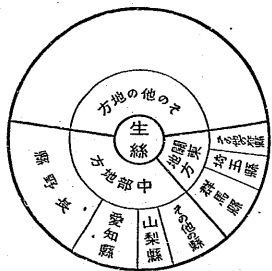
養蠶業の盛なにつれて製絲業も大いに發達してゐる。中でも長野縣の諏訪湖沿岸の岡谷は全國第一の製絲業地であつて、大小あまたの工

工業

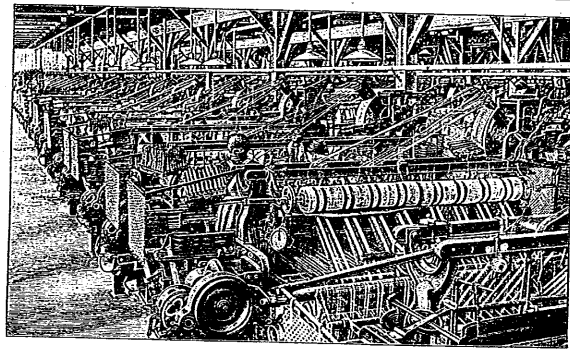


場工絲製の谷岡

場が立並び、繭を各地から集めて盛に生絲を製してゐる。したがつて長野縣は生絲の産額に於いてはるかに他の諸府縣をしのぎ、我が國の生絲の總産額の約五分の一を出してゐる。我が國の生絲はその産額に於いて世界第一で、國內で消費される外、外國に輸出されるものも多く、綿織物について、我が輸出品中第二位を占め、主

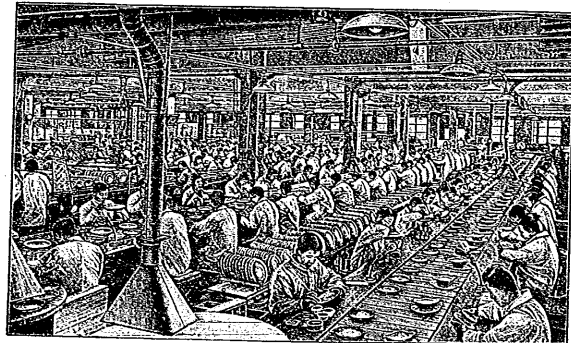


絲の産額の比 (年九和昭) 圓萬千八億三約



場工物織毛の宮一

としてアメリカ合衆國へ送られる。名古屋及びその附近は一大工業地帯をなしてゐて諸種

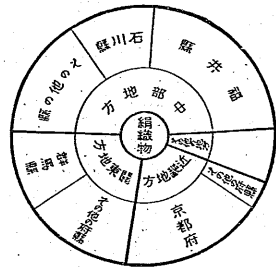


場工器陶の屋古名

の工業が盛である。中でも綿織物・毛織物・綿絲の外、陶器・時計・車輛等の産額が多い。綿織物は我が國第一の輸出品で

あつて、大阪附近と共に我が國での主産地である。毛織物は一宮及びその附近一帯の地に多く産する。陶器も亦重要な輸出品で、名古屋の外、瀬戸・名治見も有名である。日本海の沿岸の地方には絹織物業が發達してゐる。中でも福井・金澤及びその附近は我が國で絹織物の産額の最も多い地方で、殊に羽二重・富士絹が多い。その他、静岡・輪島の漆器、富山の賣藥、濱松の綿織物・樂器、富士山の裾野の

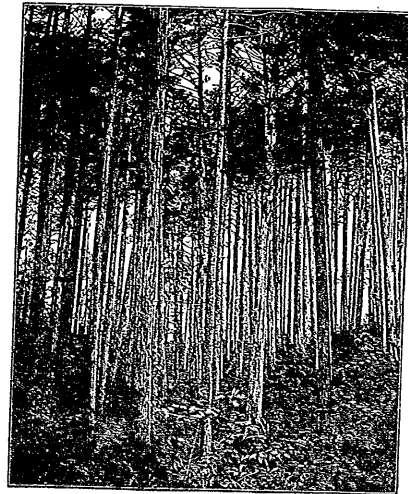
較比の額産の物織絹
(年九和昭) 圓萬千六億五約



林業

大宮附近の洋紙等はいづれも著名である。木曾川・天龍川の上流の流域や伊豆半島の天城山附近には森林が多く、木材の産出も多い。殊に木曾川の上流の木

曾谷の森林は我が國屈指の森林で、ひのきなどは等の良材が多いので、これを伐出して各地に輸送する。この木材の主な集散地は名古屋である。



木曾の森林

鑛業

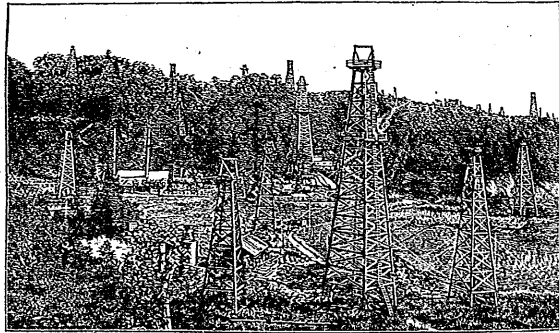
信濃川の下流の附近は秋田附近と共に我が國での石油の主産地であつて、至る處に油井の櫓が林のやうに立並んでゐる。こゝから出る石油は主として柏崎新潟にある製油所で精製される。その他の鑛産物としては伊豆半島及び佐渡島の金が主なものである。

水産業

漁業は甚だ盛で、殊に暖流の流れてゐる太平洋方面の近海遠洋ではかつをまぐろ等の漁獲高が多い。又水産製造物も盛である。静岡縣のかつをぶしは産額が殊に多い。

四 交通

中部地方は高山や急流が多いにかゝはらず、その位置が近畿關東兩地方の間にあるので、古くから主要な街道が通つてゐる。さうして鐵道もほゞこれにそつて敷かれてゐる。太平洋の沿岸には我が國の鐵道の主



新潟縣の油田

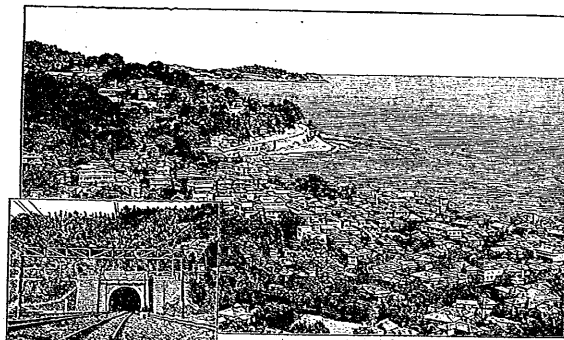
陸上の交通

要な幹線である東海道本線が通じてゐる。この線が伊豆半島の北を横ぎる處に有名な丹那トンネルがある。

中央部の山地をへて東西の連絡をはかるものには中央本線があり、又日本海の沿岸を通るものには北陸本線、羽越本線がある。この外、南北の連絡をはかる線としては信越本線、上越線、高山本線等がある。

海上の交

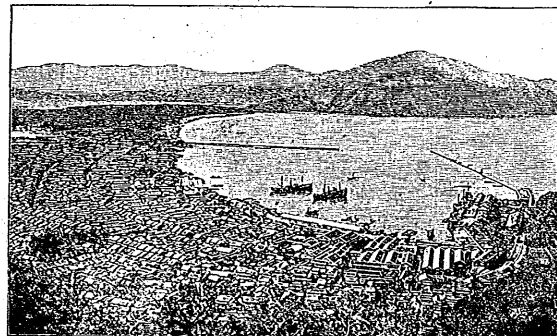
太平洋方面は産業が盛であるばかりでなく、名古屋清水



熱海温泉と丹那トンネルの東口

の二良港があるので、海運の便が大いに開けてゐる。日本海方面は良港が少く、その上、冬季は風波が荒く、雨雪が多いから海上の交通はあまり便利でない。しかし、新潟、伏木、敦賀の諸港は、港の設備が大いにとつてきて、この方面での重要な港となつてゐる。その上、近頃、朝鮮の鐵道と満洲の鐵道とが連絡したので、これらの諸港も頗る活氣を呈して來た。

五 都邑

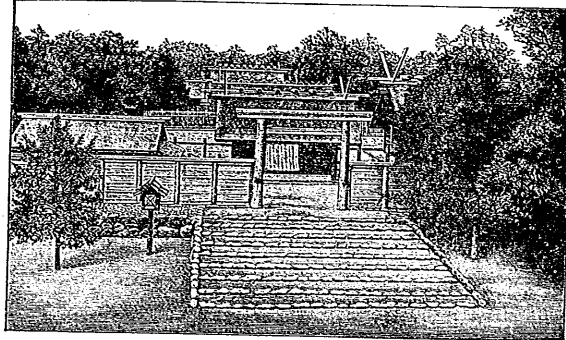


敦賀港

この地方で都邑の發達してゐる處は太平洋方面及び日本海方面の海岸地方の諸平野と、中央部にある諸盆地とである。

殊に太平洋の沿岸地方は産業が發達し、交通も便利であるから、縣廳の所在地たる静岡名古屋岐阜をはじめ、沼津、濱松、豊橋、岡崎、一宮、大垣など大きな都邑が並んでゐる。中でも名古屋は人口約百十萬、東京大阪につぐ我が國屈指の都會で、濃尾平野をひかへ、伊勢海に面して、海陸交通の要路に當り、商業も工業も

太平洋方面の都邑

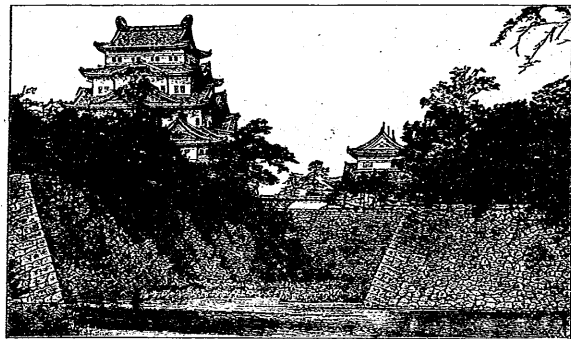


熱田神社

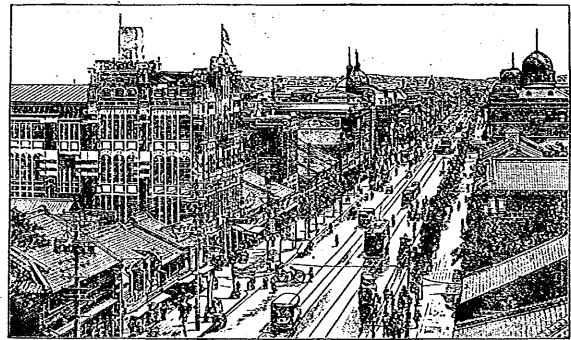
日本海方面の都邑

發達してゐる。熱田神宮はこゝにある。

日本海の沿岸地方にある都會の中、新潟・富山・金澤・福井は



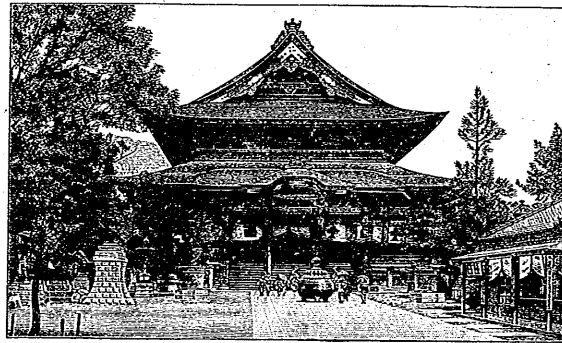
縣廳の所在地であり、又各所の地方の古産業交通の中心地である。その中、金澤はこの方面の第一



名古屋の市街

中央部の
都邑

の大都會である。敦賀・伏木・直江津は海陸交通の要地であり、柏崎・長岡・新津は石油業によつて發達した處である。



善光寺

中央部の盆地にある主な都會は縣廳の所在地たる長野・甲府と松本とで、長野は又善光寺がある。



甲府府近のぶだ畑

るので名高い處、甲府・松本は製絲業の盛な處である。甲府の附近ではぶだうを産する。

第五 近畿地方

一 區域

京都・大阪の二府と滋賀・兵庫・奈良・和歌山・三重の五縣の區域を近畿地方といふ。

二 地勢

近畿地方は北西部と南部とに山地が多く、中央部には平地が多い。

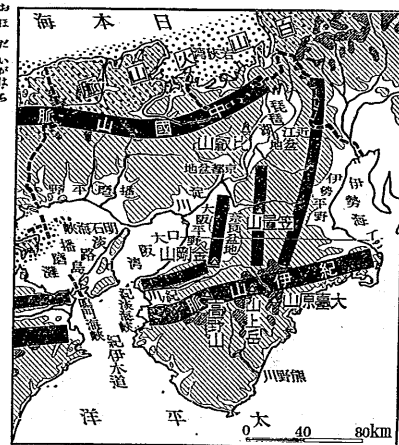
北西部の山地は中國山脈の東の部分であつて、とりわけ目だつ高い山も大きい川もなく、大體高原狀で、處々に盆地

北西部

南部

地がある。これらの盆地には産業が発達してゐて、都邑も多い。南部は東西に長い紀伊山脈のある處で、大體高原状であるが、北西部に比べると山は高く谷は深く、山上岳、大臺原山などのけはしい山がある。又この山脈には金剛峯寺があるので、名高い高野山、史蹟と櫻とで名高い吉野山がある。又南の海岸の近くには那智、瀧がある。

南部の川はおほむね紀伊山脈から出てゐる。その主なもの



近畿地方の地勢と断面の略図

中央部

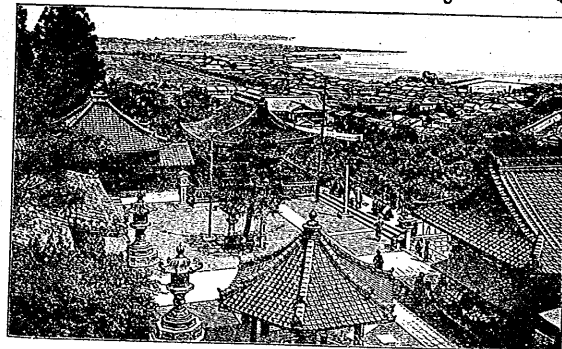
のは南に流れる熊野川と西に流れる紀川とである。紀川の沿岸には一帯の平地があつて、この平地と海岸の地方は産業が盛で、交通の便も開け、都邑が多い。その他は大い山地で、産業も進まず、交通も不便で、都邑も極めて少い。

中央部にはいくつもの低い山脈が南北に並んでゐて、その中に金剛山、笠置山等歴史に名高い山がある。これらの山脈の間には近江、京都、奈良の諸盆地がある。又大阪湾と播磨灘の沿岸にはそれ



吉野山

大阪平野と播磨平野があり、伊勢海の沿岸には伊勢平野がある。これら中央部の諸平野は我が國で最も早く開けた處であつて、人口も極めて密で、産業交通の發達も著しく、京都大阪神戸をはじめ、都邑が甚だ多い。近江盆地には琵琶湖がある。我が國第一の大きな湖であつて、灌漑の便が多く、水産物も少くない。その沿岸各地には大津を起點として汽船が往來してゐる。又沿岸には處々に名勝の地がある。延暦寺があるのも名高い比叡山はこの

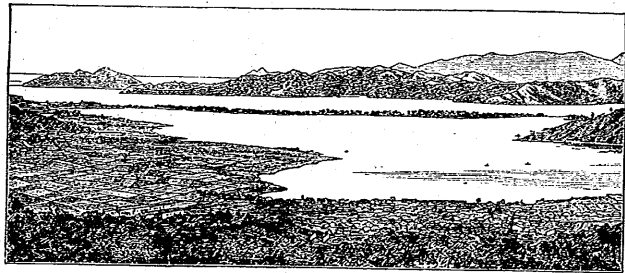


琵琶湖と大津

海岸

湖の西岸にある。琵琶湖の水は大津の南東から流れ出て淀川となり、京都盆地、大阪平野を過ぎて大阪灣にはいつてゐる。又大津から起つてゐる二條の疏水運河は西の方山地をくぐり、平地を通つて流れ、京都で淀川の支流の賀茂川に合してゐる。この疏水運河も淀川も灌漑運輸發電に利用されてゐる。又この疏水運河の水は京都で、淀川の水は大阪で飲料水用水として用ひられてゐる。日本海の沿岸には小さな灣が多い。舞鶴灣には舞鶴の良港があつて、海軍の要港となつてゐるものもある。その西にある宮津灣には風景の美しいので名高い天橋立がある。

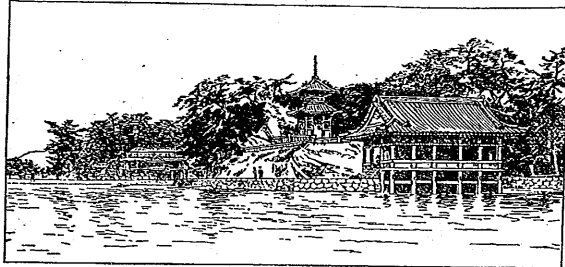
南部の海岸には小さな灣が多く、自然の良港もあるが、山



天橋立

が海岸にせまつてゐて、陸上の交通が悪いため、主として漁港として利用されてゐるに過ぎない。紀淡海峡の近くには和歌浦の勝地がある。

大阪湾が入りこんでゐて、その沿岸に四日市があり、西には



和歌浦

港がある。

大阪湾と播磨灘との間には淡路島があつて、本州との間に明石・紀淡の兩海峡をはさみ、四國との間に鳴門海峡をはさんでゐる。明石・紀淡の兩海峡は海上交通の要路であつて、船がたえず往來してゐる。鳴門海峡は潮流が早いので名高い。

氣候

海岸地方は一般に氣候が温和である。南部の太平洋沿岸は本州中最も温暖な地方で、夏季、雨が、多く、樹木がよく繁茂してゐる。日本海沿岸は冬季、雨雪が多い。

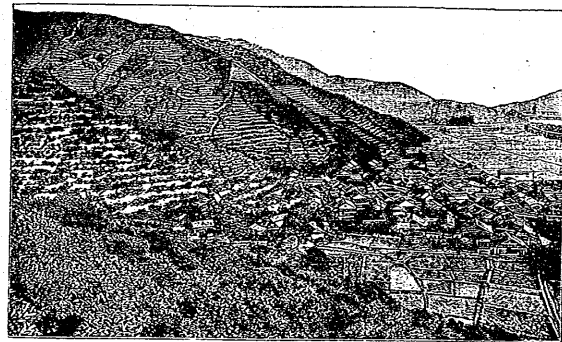


鳴門海峡

三 産業

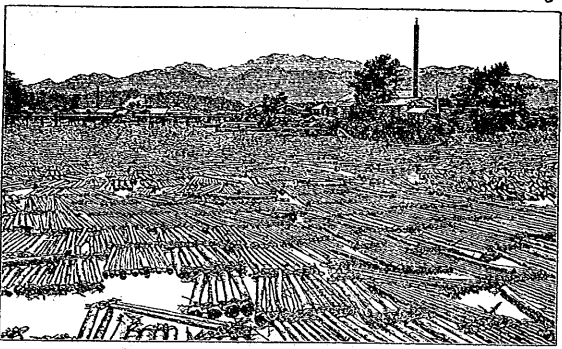
農業・林業

中央部の盆地や平野は耕地がよく開け、米・麦・菜種等多



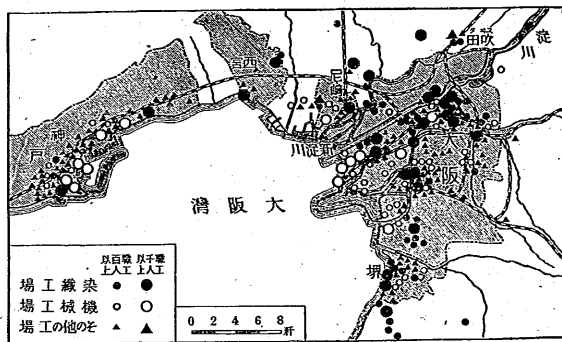
山柑蜜の岸沿川田有

くとれる。大阪は米の主な集散地である。又大阪は京都の如き大都市の近郊には野菜の栽培が盛



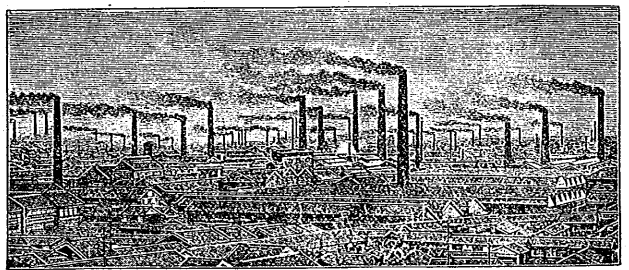
材・木の宮新

である。京都盆地から伊勢平野へかけては茶の産額が多く、宇治茶は品質が良いので名高い。



布分の場工の帯地業工神阪

紀伊水道の沿岸地方では處々で蜜柑を産する。有田川の沿岸は殊に著名である。又大阪平野ではぶだうを産する。

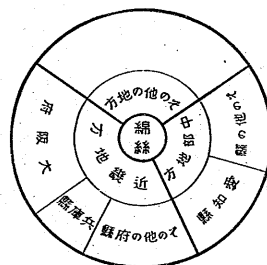


帯地場工の部東北阪大

工業

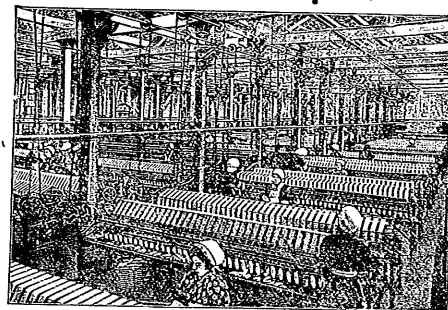
南部の山地は森林が多く、紀川・熊野川の流域は杉の造林が盛で、良材を産し、熊野川の川口の新宮や、紀川の川口の和歌山はその集散地である。

中央部の諸平野では工業が大いに發達してゐる。殊に大阪灣沿岸の地方は我が國で工業の最も盛な地方で、いはゆる阪神工業地帯と呼ばれ、神戸・西宮・尼崎・大阪堺・岸和田等の工業市が相連つてゐる。中でも大阪はその中心をなし、至る



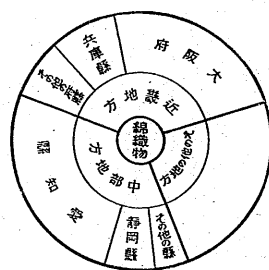
絹糸の産額比較
(約八億圓昭和九年)

大阪は、その中心をなし、至る

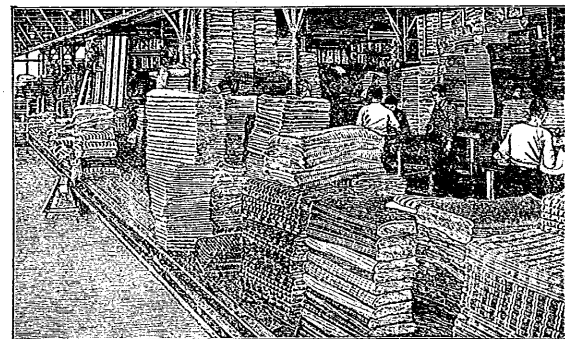


大阪の絹織工場内

處に大きな工場があつて、煙突が林のやうに立並び、煤煙が空にみなぎつてゐる。この工業地帯の主な工業品は綿・絲・綿織物・毛織物・機械・砂糖・麥粉・各種の化學製品等、その種類もその産額も甚だ多い。中でも綿・絲・綿織物の工業が最も盛である。これらの製品は海外にも多く輸出される。したがつて大阪・神戸では商業も亦極めて盛である。なほ



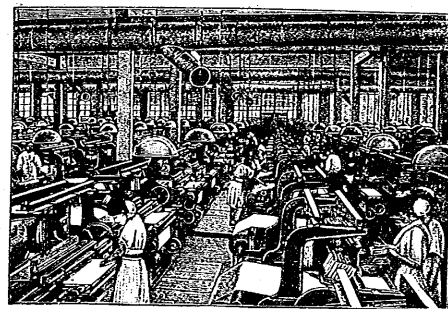
綿織物の産額比較
(約八億圓昭和九年)



大阪の綿織工場内

播磨平野の北部の西脇附近でも輸出向の綿織物の産額が多い。

京都は美術工藝品の産地として知られ、絹織物、染物、陶器等の産が



京都の絹織物工場内

多く、いづれも品質が優れてゐる。伊勢平野の北部でも綿絲綿織物の工業が盛で、四日市津は



紀川の流下に於ける綿木のさらし場

水産業

鑛業

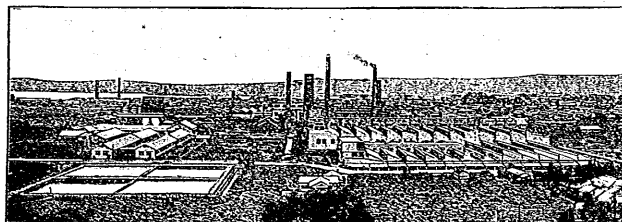
その中心地である。又和歌山の綿織物、海

南の漆器も名高い。大津附近は人造絹絲工業が盛であり、琵琶湖の東部の沿岸地方では絹織物、麻織物を産する。

紀伊半島の近海は暖流が流れてゐて魚類が多いから水産業が盛である。又志摩半島の沿海の養殖真珠は世界で名高いものである。

又播磨灘の沿岸は製塩業が盛で、その中心地は赤穂である。

鑛山で名高いのは生野鑛山で、こゝから出る銅、銀の鑛石



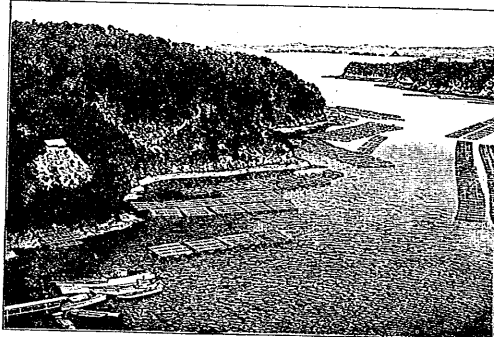
大津の人造絹絲工場

は瀬戸内海の直島で製錬される。
又明延鑛山からは錫を産する。

四 交通

近畿地方は關東地方と共に我が國で最も交通の發達してゐる處であつて、大阪京都からは鐵道が四方に通じ、神戸・大阪からは航路が内外の諸港に通じてゐる。

鐵道には本州の鐵道の幹線である東海道本線・山陽本線をはじめ、關西本線・山陰本線・北陸本線等があり、又これらを連絡する諸線もある。東海道本線は近江盆地・京都盆地及び大阪平野を通り、神戸に至つ

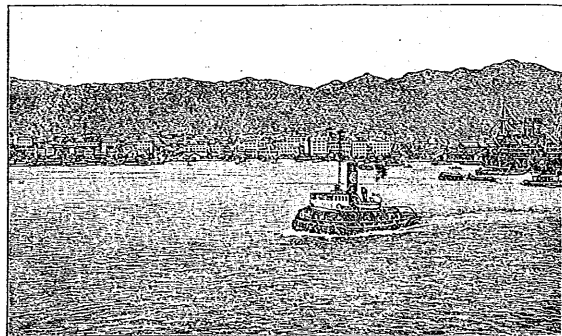


眞珠母貝の養殖

陸上の交通

海上の交通

て山陽本線と接續してゐる。山陽本線は神戸から瀬戸内海の沿岸を通つて下關に至る。關西本線は大阪から奈良をへて名古屋に至り、山陰本線は京都から日本海沿岸を通つて下關に至るものである。北陸本線は米原で東海道本線と連絡する。又大阪・神戸・奈良・京都の諸方面では電車や自動車がひんばんに往来し、交通は至つて便利である。この地方の諸港の中、神戸・大阪の二港は、内には瀬戸内海、その他、近海の航路の起點となり、外には支



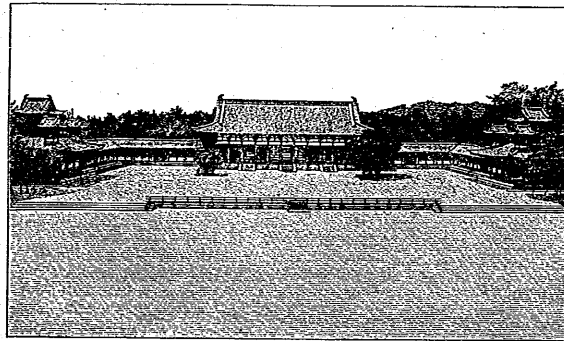
神戸港

那印度・ヨーロッパ・南南北兩アメリカ洲・オーストラリヤ等、世界各地の港と航路が相通じてゐる。四日市も亦この地方の重要な港である。

五 都邑

中央部の諸平野は神武天皇以來御歷代の皇居のあつた處だけに名所舊蹟が多く、又産業も極めて盛であつて、我が國で人口の最も密な處である。殊に大阪灣沿岸の工業地帯にはいくつもの大きな都會が相連つてゐる。

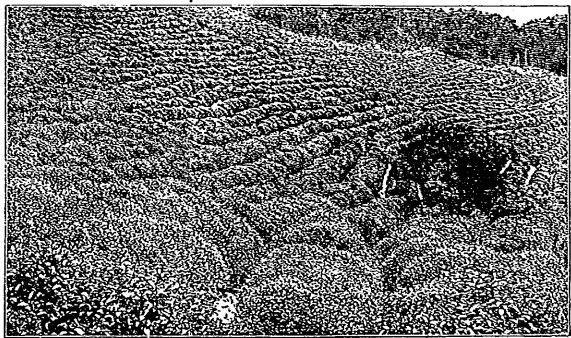
京都



京都市の街

人口約百萬、市街は賀茂川をはさみ、街路がごぼんの目のやうに規則正しく並んでゐる。桓武天皇以來久しく帝都であつた處で、京都御所二條

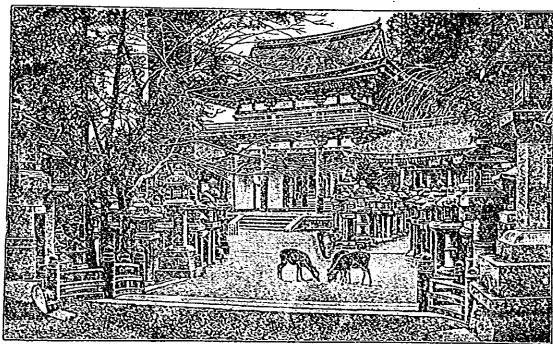
離宮の外、平安神宮、上下の賀茂社、知恩院、東西兩本願寺をはじめ社



宇治の茶園

奈良

寺や名所舊蹟が甚だ多い。又京都帝國大學及び各種の學校、博物館等があつて、我が國での學術の一中心地となつてをり、美術工藝品の製作では、古來國內第一と稱せられてゐる。南部の桃山には明治天皇の御陵、昭憲皇太后の御陵がある。桃山の附近は名高い宇治茶の産地である。奈良は奈良時代七十餘年の間帝都であつた處で、奈良盆地の中心地である。正倉院、春日神社、東大寺等がある。奈良の南西には法隆寺があり、南には神武天皇の御陵及

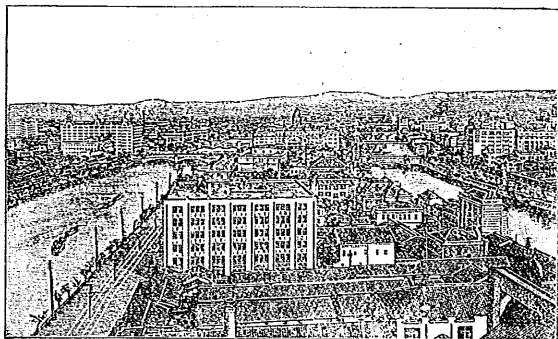


春日神社

大阪

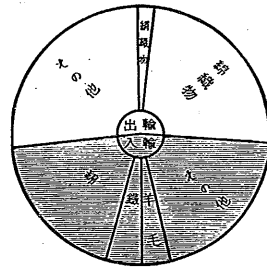
び橿原神宮がある。

大阪は淀川の下流の沿岸平地にあつて、人口は凡そ三百萬、東京に次ぐ都會で、我が國第一の工業都市であり、近畿地方以西に於ける商業の中心地である。市内には運河が縦横に通じて水運が便利であるから水の都ともいはれてゐる。又港の設備がよく、のつてゐて、大きい汽船も出入するこゝとが出来た。したがつて貿易も年と共に發達し、近年横濱と匹敵するやうになつた。我が國第一の輸出品たる綿織



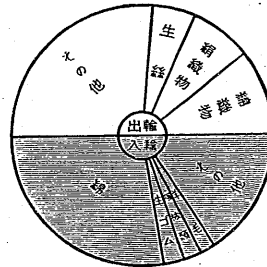
大阪の市街

神戸

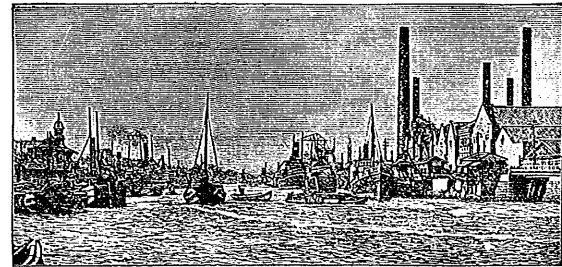


圖較比入出輸港阪大
(年九和昭)圓萬千九億五約額出輸
(年九和昭)圓萬千二億五約額入輸

物の輸出が甚だ多い。又大阪帝國大學がある。神戸は人口約九十萬縣廳の所在地で、我が國第一の貿易港で、港の設備もよくととのつてゐる。輸入品の主なものは綿生ゴム、機械類、羊毛等である。綿は我が國第一の輸入品で、アメリカ合衆國と印度から來るものが最も多い。輸出



圖較比入出輸港戸神
(年九和昭)圓萬千九億七約額出輸
(年九和昭)圓萬千九億七約額入輸



流下の川淀

その他

品の主なものは綿織物、絹織物、生絲である。工業も亦盛で、造船所をはじめいろいろな大工場がある。又有名な湊川神社がある。津・大津和歌山は縣廳の所在地で、それぐその縣内の中心地になつてゐる。宇治山田は神宮の在します處である。姫路は播磨平野の中心地で、米の集散が多く、工業も亦盛である。

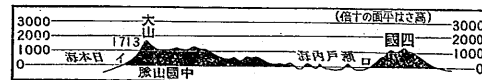
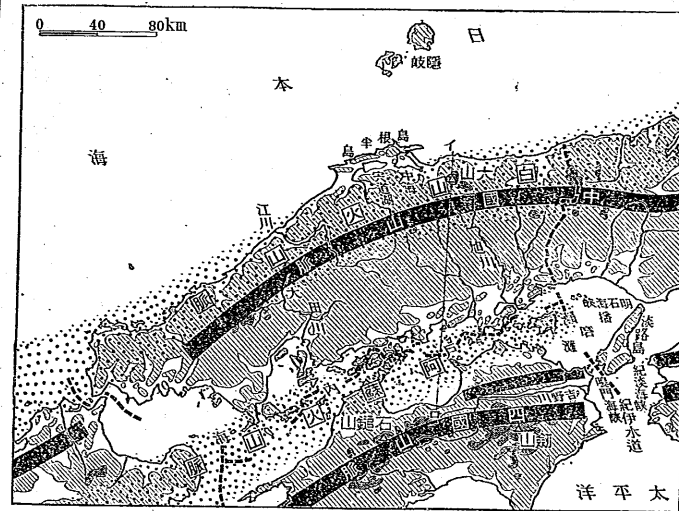
第六 中國地方

一 區域

岡山、廣島、山口、島根、鳥取の五縣の區域を中國地方といふ。

二 地勢・氣候

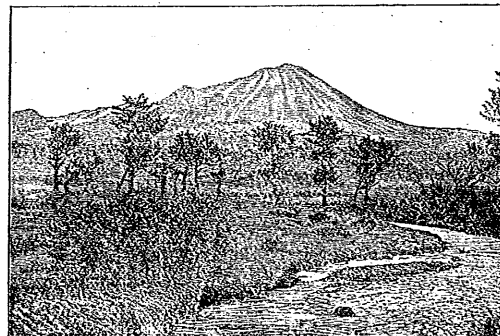
中國地方は近畿地方の西についで、細長い地域で、ほぼ東西に連つてゐる高原狀の中國山脈によつて北の日本海方面と南の瀬戸内海方面とに分たれる。この兩方面は地勢や氣候のみでなく、産業や



中國地方の地勢と断面の略圖

瀬戸内海方面

交通等いろいろの點でよほどちがつてゐる。この地方の分水嶺をなしてゐる中國山脈が北にかたよつてゐる上に、これによつて火山脈が通つてゐるので、日本海方面は瀬戸内海方面に比べて土地の傾斜も急で、平地がよほど少い。この火山脈中の大山は中國地方第一の高山である。



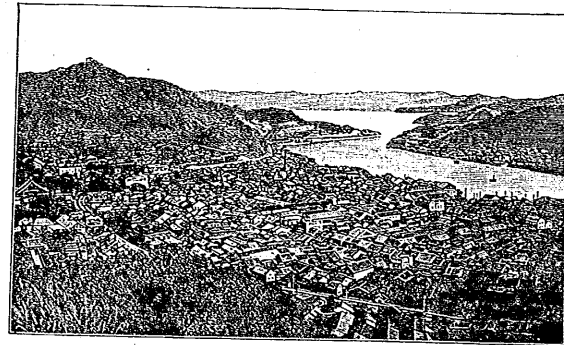
大山

瀬戸内海方面には旭川、大田川等があつて、その下流には小平地が開けてゐる。又この方面は海岸の出入が多く、近

海には大小あまたの島々があり、海上もおだやかで、船の交通も甚だ便利である。港の主なもののは下關、徳山、廣島、呉、尾道である。

中國地方の瀬戸内海沿岸は北に中國山脈を負つてゐるので、冬も暖かて、したがつて産業も發達し、都邑も多い。

一體、瀬戸内海沿岸はいはゆる瀬戸内式氣候で、北の中國山脈、南の四國山脈によつて、日本海方面及び太平洋方面から來る濕氣がさへぎられるので、我が内地として

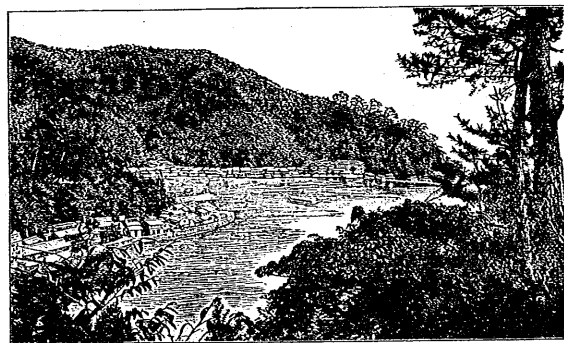


尾道港

は一年を通じて雨量の最も少い地方である。

日本海方面では江川の外、川はいづれも短く、又一般に沿岸に平地が少い。中央部には島根半島と夜見濱があつて、中海をかこみ、夜見濱の先端には境がある。この外には港灣が甚だ少く、島も隱岐を主なものとするにすぎない。

日本海沿岸は冬、雨雪が多く、波も荒いので、海上の交通は不便をまぬがれない。したがつて瀬戸内海沿岸に比べると産業も進まず、都



島根半島の先端

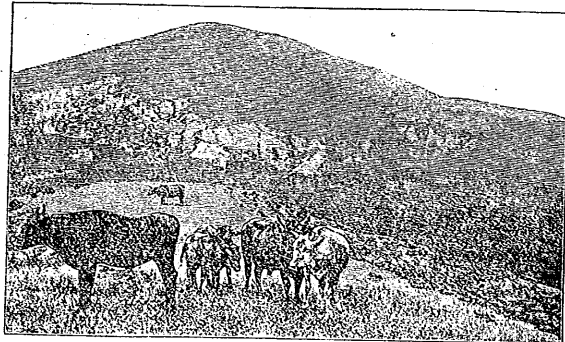
邑も少い。

三 産業

日本海方面では農業・牧畜が産業の主なものとなつてゐる。瀬戸内海方面では商業・工業が主な産業であるが、農業・牧畜に於ても日本海方面よりも盛である。

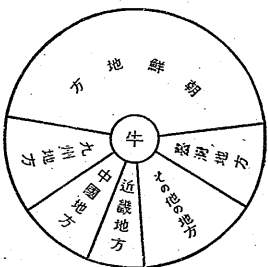
瀬戸内海方面では耕地がよく開け、農業が盛である。農産物の中、米は最も主なものであるが、麥の産額も多い。

廣島・岡山の二縣では牛の牧畜が



牛の牧場（廣島縣）

農業・牧畜

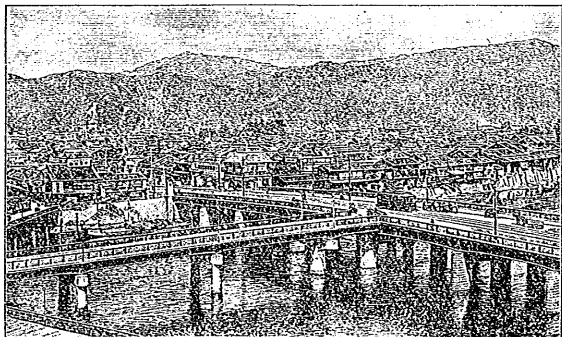


牛の頭数の比較
（昭和九年）頭萬七十七百三約

廣く行はれ、肉用として他地方へ送られるものが多い。又廣島では牛肉の罐詰の製造が盛である。

工業・鑛業

瀬戸内海沿岸の各地では近年工業が大いに發達して來た。岡山倉敷から福山・尾道・三原に至る地方は綿絲・綿織物の製造が盛で、人造絹絲工業も興つてゐる。又岩國では人造絹絲、宇部ではセメントの製造が盛である。



廣島の市街

水産業

る。福山尾道附近の疊表花筵も著名である。鑛産物の主なものは宇部附近の石炭、瀬戸内海の諸島及び沿岸各地の花崗岩である。

海岸地方には漁業に従事するものが多く、中には朝鮮の近海や遠洋に出漁するものも少くない。下關は水産物の多く集る處で、盛に大阪東京方面へ輸送される。

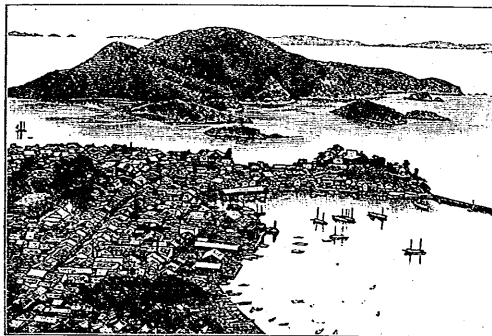
瀬戸内海のたひ、隱岐のいか、廣島縣のかきは中國地方で名高い水産物である。

瀬戸内海の沿岸は、雨量が少く、晴天が多いので、砂濱は處處塩田に利用され、我が國の主な製塩地となつてゐる。

四 交通附瀬戸内海の交通

中國地方の主な鐵道は山陽本線と山陰本線とであつて、

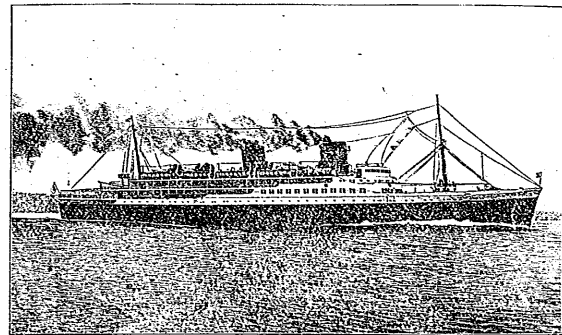
共に東西の方向に通じてゐる。山陽本線は我が國の鐵道の幹線の一部で、岡山廣島等瀬戸内海沿岸の主な都會を通つて下關に至り、山陰本線は京都に起り鳥取米子松江等、日本海沿岸の主な都會を通つて同じく下關に至るものである。下關と下關海峡をへだててこれと相對してゐる九州の門司との間には鐵道連絡船がひんばんに往來してゐる。下關と朝鮮の釜山との間にも鐵道連絡船が往來して、本州と朝鮮との連絡をとつてゐる。又岡山の南にある宇野



瀬戸内海沿岸の風景

瀬戸内海
交通の風景

と四國の高松との間にも鐵道連絡船が往來してゐる。
なほ中國地方には中國山脈を越えて山陽本線と山陰本線とを連絡する鐵道も處々に通じてゐて、瀬戸内海方面と日本海方面との交通はよほど便利となつた。
瀬戸内海は近畿中國四國九州の四地方にかこまれてゐる内海で、古來我が國に於ける海上交通の要路で、東には神戸大阪西には門司下關等の大きな港がある上、沿岸各地に良港があるので、内外國の汽船がたえず往來してゐる。

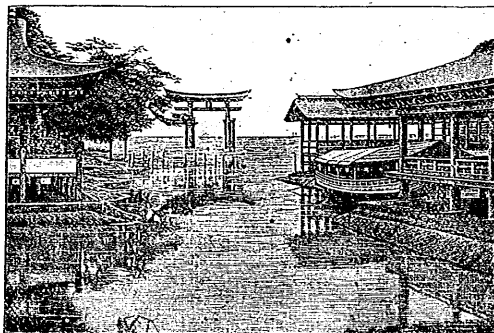


下關港に於ける關釜連絡船

瀬戸内海の海上には大小あまたの島々が散在してゐて景色がよいので海の公園といはれてゐる。島々の中、廣島灣内にある嚴島は嚴島神社があるので名高い。

五 都邑

瀬戸内海の沿岸地方は平地が多く、人口が密で産業交通が發達してゐるから、都邑も多い。その主なものは縣廳の所在地たる岡山、広島、山口と福山、尾道、吳、防府、宇部、下關である。岡山は旭川の下流の平地にあつて、交通の要路に當り、商工業

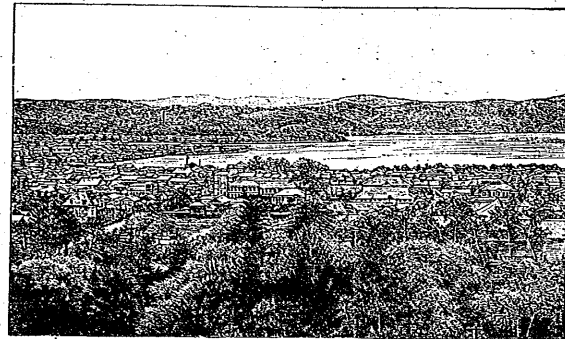


嚴島神社

瀬戸内海
方面

も發達してゐる。廣島は大田川の川口にある良港で、海陸交通の要路に當り、商工業の中心地をなし、人口凡そ三十萬、中國地方第一の都會である。吳は軍港として發達した處で、兵器艦船を製造する海軍の大工場がある。下關は門司と共に瀬戸内海の門戸をなす良港で、船の出入が甚だ多く、海陸交通の要地で、商業も盛である。

日本海の沿岸地方では鳥取と、宍道湖に臨んでゐる松江とが主な都會で、いづれも縣廳の所在地である。なほこの



松江

日本海方面

方面には米子及び大社がある。米子は交通の便がよく、商業が盛であり、大社は出雲大社のある處である。

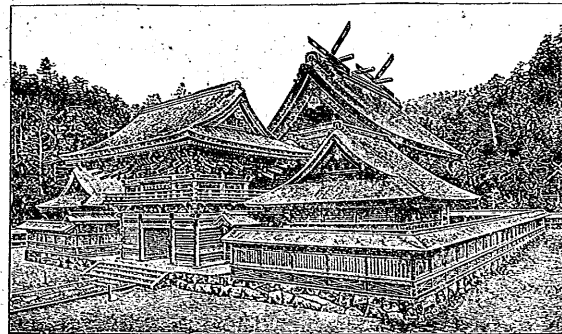
第七 四國地方

一 區域

徳島香川愛媛高知の四縣の區域を四國地方といふ。

二 地勢

四國地方は中國地方と同じく、山地が多くて平地が少い。主な山脈は中央を東西に走る四國山脈で、劔山、石鎚山、な

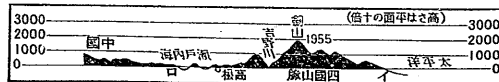
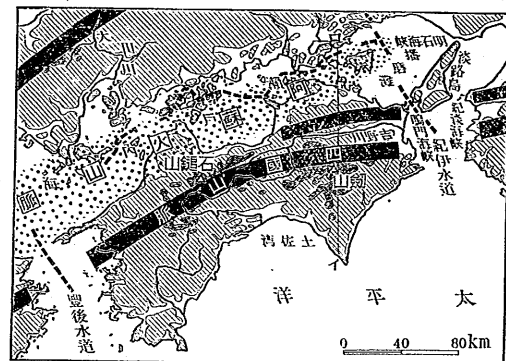


出雲大社

山・川・平地

海岸

どの高山がその中にある。この地方の主な川は大ていこの山脈から出てゐる。最も大きいのは吉野川で、四國山脈にそつて東に流れ紀伊水道にはいる。この川の下流の徳島附近、瀬戸内海方面の高松松山附近、太平洋方面の高知附近等にある諸平野は、山の多い四國地方での主な産業地であり、交通や都邑も發達してゐる。瀬戸内海方面や豊後水道方面には灣が多く、又その近海



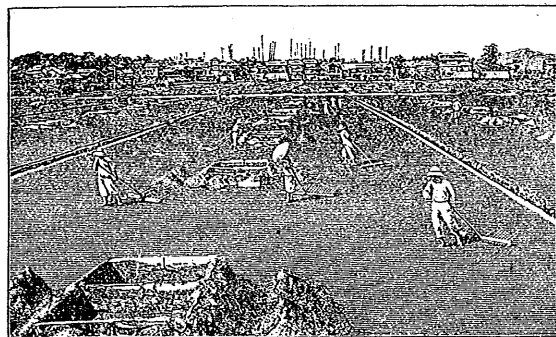
四國地方の地勢と断面の略圖

には島が多いので、處々に良港がある。

三 氣候・産業

氣候は一般に温暖である。殊に太平洋沿岸は北の四國山脈と近海を流れてゐる暖流との影響で、瀬戸内海方面よりも一層温暖で且雨量が多い。それ故、この方面では米が一年に二回とれる處もあり、又森林がよく發達してゐるので、林産物の産額も多い。

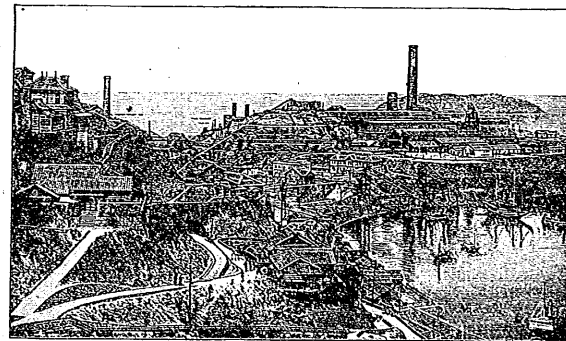
瀬戸内海沿岸の地方は雨は少いが灌漑の設備がよくとつて



坂の出の塩田

ゐるので、この方面の平地は農業が發達し、米や麥の産が多い。吉野川流域には煙草の栽培が盛である。瀬戸内海方面の砂濱は處々で塩田に利用されてゐるが、中でも香川縣の沿岸は我が國で製塩業の最も盛な處で、坂出はその中心地である。鳴門海峡の沿岸も亦製塩業地として知られてゐる。

四國地方の近海は一般に漁業が盛である。殊に太平洋方面ではかつをたくさんとれる。高知縣のかつをぶしは名高い。

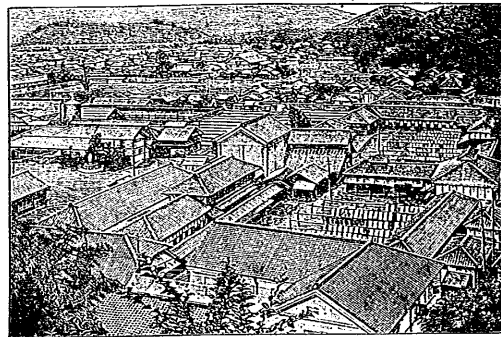


四 阪 島 の 製 錬 所

四國山脈の中にある別子鑛山は日立足尾小坂と並び稱せられる大鑛山で、多く銅鑛を産し、その鑛石は瀬戸内海の四阪島で製錬される。

高知縣愛媛縣では各地でみつまたやかうぞを原料として和紙を製してゐる。高知とその西にある伊野は和紙の主産地である。

この外、松山・今治・徳島では綿絲綿織物を産する。

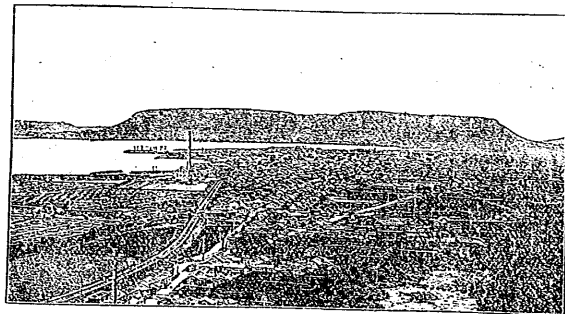


伊 野 の 紙 製 工 場

四 交通

陸上の交通はまだあまり便利でない。殊に四國山脈の南

の地方は鐵道の發達がおくれてゐる。主な鐵道は瀬戸内海の沿岸の地方を通るもので、徳島・高松・今治・松山等の都會をつらねてゐる。これと山陽本線との連絡をとるため、高松と宇野との間には鐵道連絡船がある。又多度津から南の方、四國山脈を越えて土佐灣沿岸に至る鐵道は瀬戸内海方面と太平洋方面とを連絡するものである。又この鐵道は四國山脈の北側で吉野川沿岸の鐵道と連絡してゐる。海岸には至る處に港があつて、互に

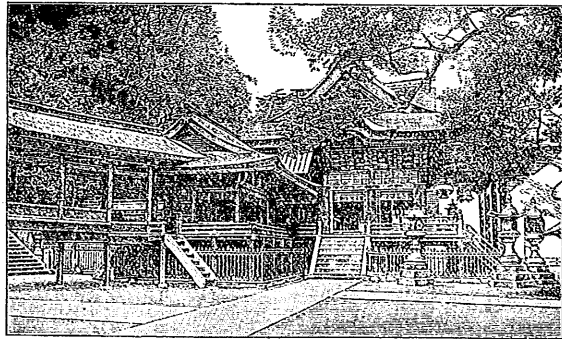


高松港

航路が相通じてゐる。殊に瀬戸内海方面は海上の交通が極めて便利で、大阪・神戸をはじめ、中國・九州の諸港ともひんばんに船が往來してゐる。

五 都邑

都邑は主として海岸の平地に發達してゐる。中でも、高松・徳島・高知・松山はいづれも縣廳の所在地で、交通の中心をなし、商工業が盛である。殊に高松は海陸交通の要地である。その附近には丸龜・坂出・多度津・琴平等の都邑が多い。琴平は金刀比羅宮が



金刀比羅宮

あるので名高い。松山は近くに三津濱高濱の二港があつて、その間の連絡が便利であるから、商業工業が盛である。なほ豊後水道の沿岸にある宇和島、瀬戸内海の沿岸にある今治もこの地方での主な都邑である。又松山の東にある道後は温泉地として知られてゐる。

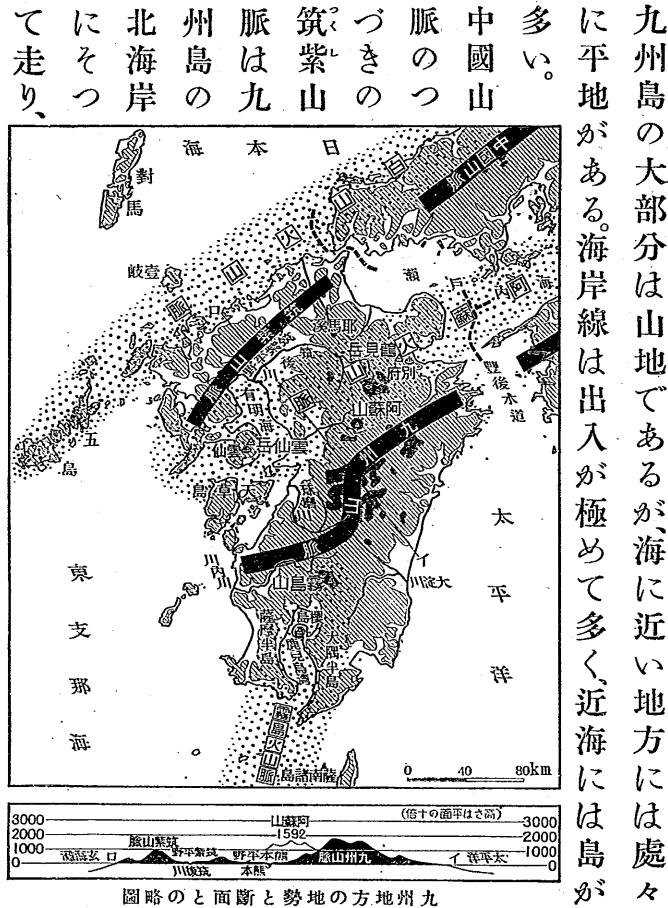
第八 九州地方

一 區域

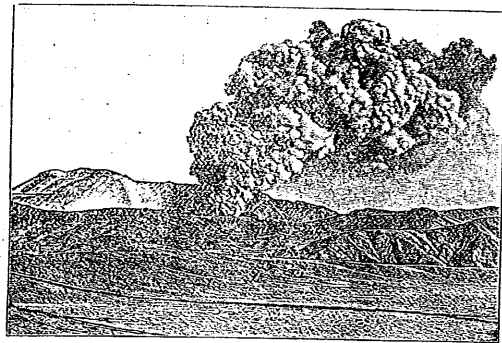
九州地方とは九州島及びその近海の島々と琉球列島とをふくむもので、福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿児島・宮崎・大分・沖縄の八縣の區域をいふ。

二 地勢

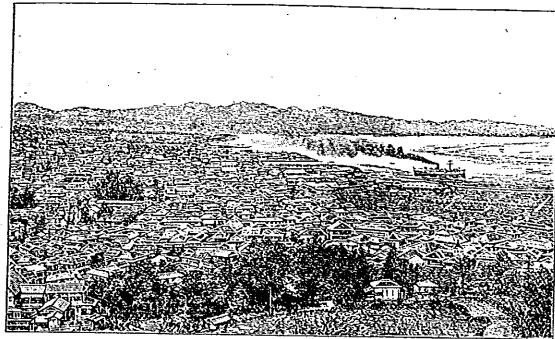
山



四國山脈のつゞきの九州山脈は中部の東海岸から南西に向つて走つてゐる。筑紫山脈は低くて丘陵地が多く、又處々に平地があるが、九州山脈は

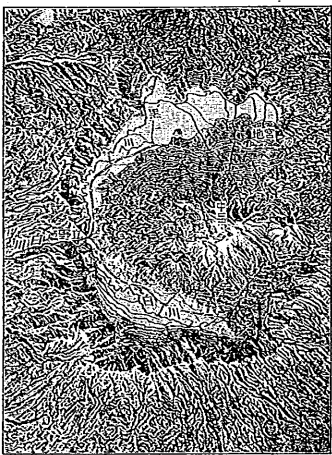


高く、一帯の山地阿をなし、九州島の主な分水嶺となつてゐる。この二つの山脈の



別府

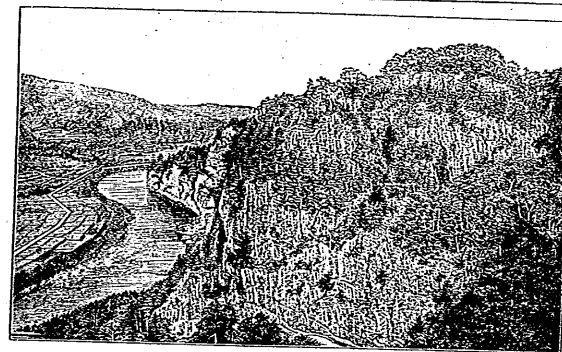
間には東西に阿蘇火山脈が通つてゐて、その中に、鶴見岳、阿蘇山、雲仙岳等の火山があり、又別府、雲仙等の温泉地や、耶馬溪の名勝もある。阿蘇山は高さは約一



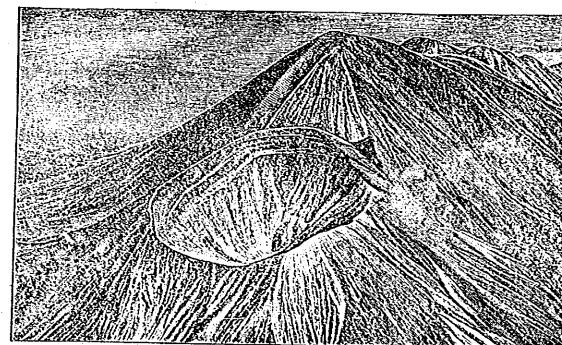
阿蘇山の地勢

千六百メートルに過ぎないが、もとの火口は東西十八キロメートル、南北二十四キロメートル、諸外國にも例のない大火口である。この火口の中央部には新しい數個の火口丘が出来てゐて、その一つは今なほ盛に煙を噴いてゐる。これらの火口丘と、もとの火口壁との間は平地になつてゐて、農業や牧畜が行はれ、都邑がいくつも出来てゐる。

川・平地



霧島火山 脈は九州 島の南部 を南北に 通つてゐ て、その中 に霧島山 櫻島等の 火山があ る。この火

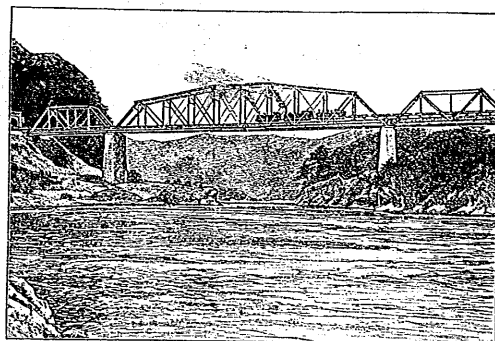


霧 島 山

山脈は更に南にのびて薩南諸島につゞいてゐる。 主な川は西に流れる筑後川、白川、球磨川、内川、東に流れ

海岸

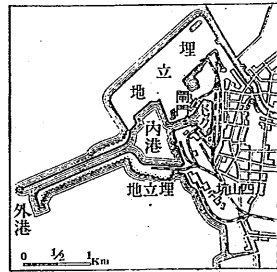
る大淀川である。いづれも水運には不便であるが、發電には利用され、又沿岸の盆地や平地では灌漑に利用されてゐる。これらの中、筑後川は最も大きく、その流域から有明海の北岸にかけては筑紫平野と呼ばれる廣い平野がある。又その南には熊本平野があり、白川がこの平野を流れてゐる。この兩平野は九州地方での主な農業地となつてゐる。北西部の海岸には多くの半島や灣があつて、至る處に自然の良港がある。門司、若松、博多、長崎の諸港はいづれも國



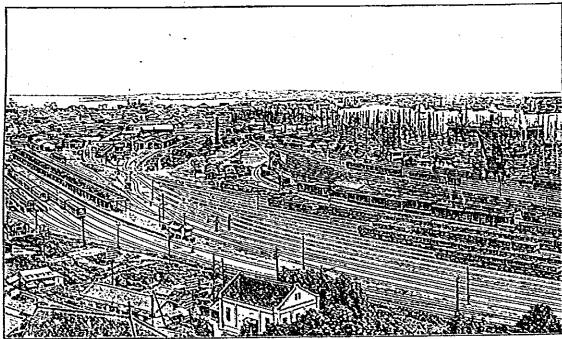
球 磨 川

近海の島

内屈指の商港であり、佐世保は重要な軍港である。又瀬戸内海沿岸の別府灣には別府港があり、南部の大隅薩摩の二半島にかこまれた鹿兒島灣の西岸には鹿兒島がある。有明海の沿岸は遠浅である。上潮の干満の差が大きいので、特別の設備のある三池港を除いては自然の良港が少い。



三池港の圖

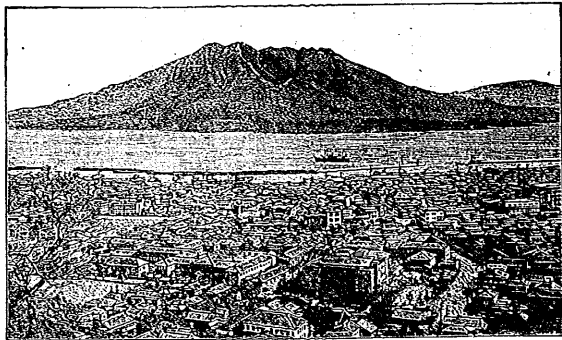


若松港

氣候

西の壹岐對馬、西の五島、天草島、南の薩南諸島である。壹岐對馬は九州島と朝鮮半島との間にあつて、日本海と東支那海との境になつてゐる。對馬と朝鮮半島との間には朝鮮海峡があり、對馬と壹岐との間には對馬海峡があつて、兩海峡とも交通上、大切な處である。薩南諸島は琉球列島と共に一系の列島をなし、九州島と臺灣島との間に連つてゐる。

九州地方はその位置が内地の最も南にある上、暖流の影響



鹿兒島と櫻島

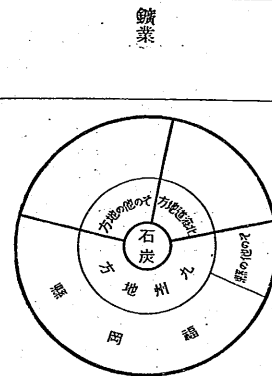
響も大きいので、氣候は一般に温暖である。九州島では九州山脈の南側は殊に温暖で、雨量が多い。

三 産業

九州島は農業が盛で、米とつまいも、菜種等の農産物がたくさんとれる。殊に筑紫平野、熊本平野は米の主産地である。さつまいもは南部に多い。又鹿児島縣は煙草の産地として知られてゐる。牧畜も盛で、牛馬の飼養が廣く行はれ、

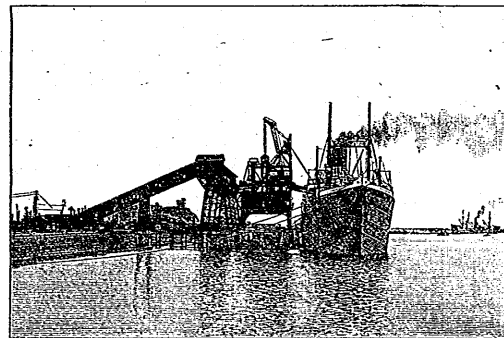
殊に阿蘇山や霧島山のやうな火山の裾野では馬の牧畜が盛である。

北部は我が國第一の石炭の産地で、福岡縣の遠賀川の流域には筑豊炭田、有明海の沿岸には三池炭田の二



較比の額産の炭石
(年九和昭) 越萬千四約

大炭田があつて、石炭の産出が多く、同縣は我が國の石炭の總産額の半ばを産してゐる。又長崎・佐賀の二縣にも石炭の産が多い。筑豊炭田から出る石炭は主として若松門司の二港から、三池炭田から出る石炭は主として三池港から内外各地に積出される。又長崎・唐津の二港からも石炭の積出が多い。



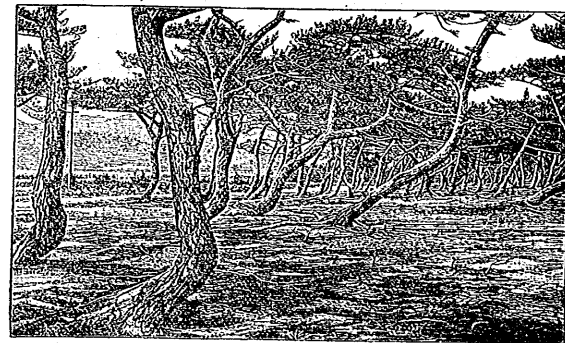
み込横の炭石るけに港池三

大分縣鹿兒島縣には處々に金山があつて、金の産額が多い。金の製鍊高の殊に多いのは大分縣の佐賀關・鯛生・鹿兒

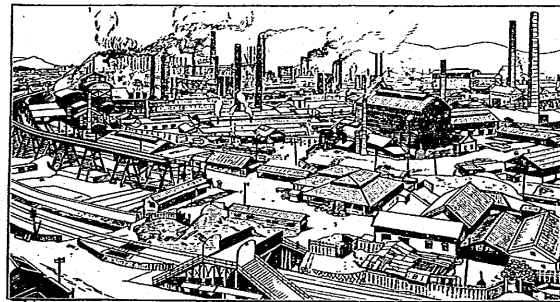
工業

島縣の串木野である。又佐賀關では銅も多く製鍊される。

北部は石炭の産出が多く、海陸の交通が開けてゐるので、工業の原料の輸入、製品の輸出に甚だ便利であるから、各地に工業が發達してゐる。殊に門司、小倉、戸畑、八幡、若松等を連ねる一帯の地は我が國に於ける一大工業地帯をなし、あまたの大工場があつて、盛に鐵機械、セメント、砂糖、硝子、麥粉等を製してゐる。中でも八幡にある製鐵所は、その規模の大きなことは驚くばかりで、原

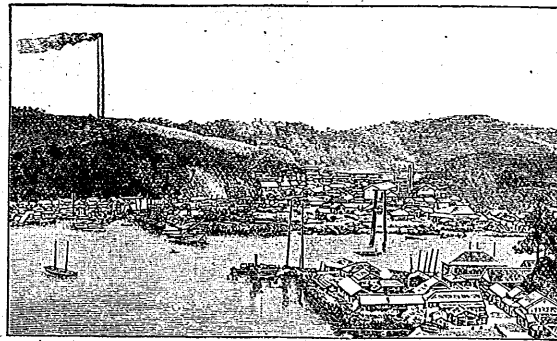


虹の松原(唐津)



八幡の製鐵所

料に用ひる鐵鑛はマレー半島朝鮮支那等から運ばれるのである。この外、長崎の造船、延岡の人造絹絲、福岡の絹織物、久留米の綿織物、有田の陶器はいづれも著名である。又熊本縣の肥料、大分縣の疊表も産額が多い。



佐賀關製鍊所

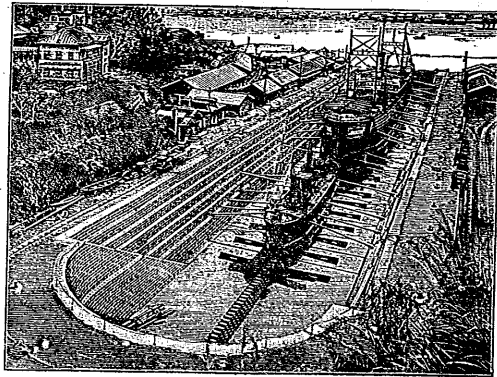
水産業

近海には魚類が多く、又海岸は漁港に適するので、漁業は一般に盛で、遠洋に出漁するものも多い。水産製造物では鹿兒島縣のかつをぶし、長崎縣のするめが名高い。

四 交通

九州の鐵道の幹線は鹿兒島本線と長崎本線とである。鹿兒島本線は九州島をほゞ南北に縦貫する鐵道で門司から小倉福岡を過ぎ、鳥栖、熊本をへて、本島の西海岸にそつて鹿兒島に至るものである。長崎本線は鳥栖から西の方、佐賀

陸上の交通

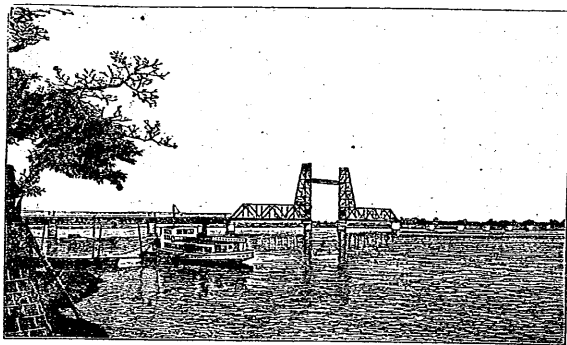


長崎に於ける造船所

を通り、有明海の沿岸をへて長崎に至るものである。鹿兒島本線、長崎本線はいづれも我が國に於ける鐵道の幹線の一部である。

この外、主な鐵道は東海岸の都會筑を通つてゐる日豊本線、九州山脈後を横ぎつてゐる肥薩線、阿蘇火山川のもの、火口を横ぎつてゐる豊の肥本線等である。日豊本線は鹿兒島本線と相連つて九州島の一週橋線をなしてゐる。

なほ北部の工業地帯や炭田地方には鐵道が特に發達してゐる。又



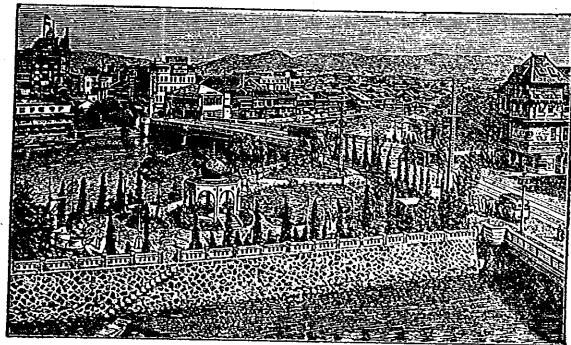
海上の交

電車も處々に通じてゐて、陸上の交通は非常に便利である。

九州島の海岸には各地に良港があつて、海上の交通は一般に便利であるが、殊に北西部はその位置が海外交通の要路に當り、且工業が盛である上、石炭の供給地であるから、門司・若松・長崎等の諸港には汽船の出入が多い。

長崎・佐世保の附近からは對岸の大陸に至るいくつもの海底電線があつて、通信は極めて便利であ

通信

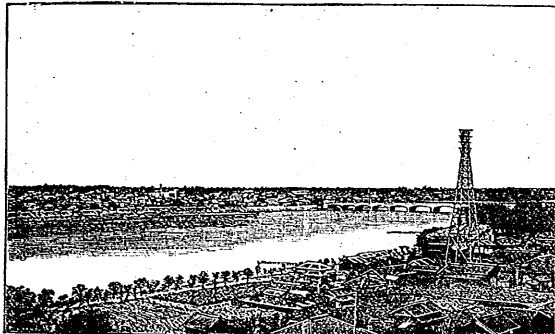


福岡の市街

る。中でも、ウラヂボストックに至るものと、上海に至るものとは、ともに世界電信線の幹線であつて、遠くヨーロッパにを通じてゐる。

五 都邑

九州島の海岸の平地は一般に産業交通が發達してゐるから、人口が密で、都邑も多い。殊に北西部の工業地帯には門司・小倉・戸畑・八幡・若松等の工業市が相連つてゐる。又この外、福岡・久留米・大牟田・佐賀・佐世保・長崎等の著名な都市がある。その他の部分には熊本・鹿兒島



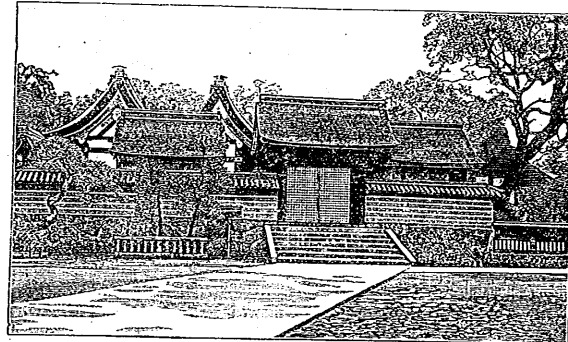
宮崎と大淀川

宮崎大分府等が主なものである。その中、福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿兒島、宮崎、大分はいずれも縣廳の所在地である。

福岡は人口約三十萬、九州地方第一の大都會であつて、博多灣の南岸に位し、商業も工業も發達してゐる。九州帝國大學はこゝにある。佐長崎は古來有名な港である。又大分縣の北部には有名な宇佐神宮がある。

六 薩南諸島・琉球列島

薩南諸島と琉球列島とは熱帶に近い處であつて、その上、近海に暖



流があるので、氣候は甚だ暖かて、雨が多く、熱帶植物も繁茂してゐる。地味はあまりよくないが、さとうきびやさつ

まいも

の栽培

が盛で

あつて

粗糖の

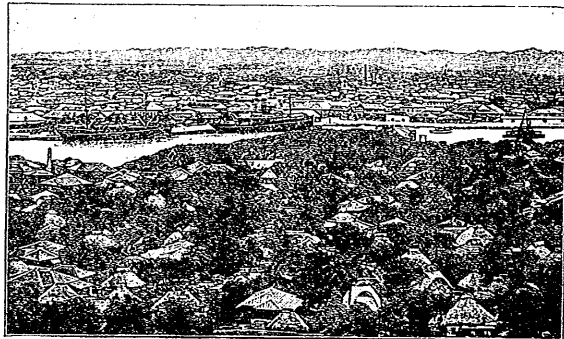
産額は

我が内

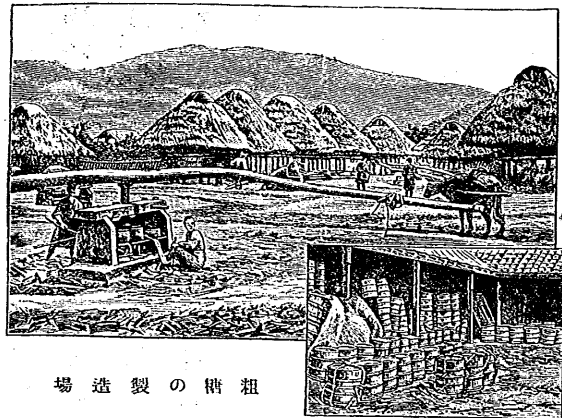
地第一

である。

又豚の



那 覇 港



粗 糖 の 製 造 場

飼養も甚だ盛である。

薩南諸島の主な島は大島で、絹織物を産する。琉球列島の主な島は沖縄島である。沖縄島はこれらの島々の中、最もよく開けてゐて、那覇首里の二都會がある。那覇は琉球列島第一の良港で、縣廳の所在地である。

尋常小學地理書卷一 終

附 錄

一 關東地方

府縣名	管轄區域	府縣名	管轄區域	府縣名	管轄區域
東京府	武藏國の一部分 伊豆七島 小笠原群島	東京市	群馬縣	上野國	前橋市
神奈川縣	武藏國の一部分 相模國	横浜市	栃木縣	下野國	宇都宮市
千葉縣	下總國の大部分 上總國 安房國	千葉市	茨城縣	常陸國 下總國の一部分	水戸市
埼玉縣	武藏國の一部分	浦和市			

二 奥羽地方

府縣名	管轄區域	府在縣地廳	府縣名	管轄區域	府在縣地廳
福島縣	磐城國の大部分 岩代國	福島市	青森縣	陸奥國の大部分	青森市
宮城縣	陸前國の大部分 磐城國の一部分	仙台市	秋田縣	陸奥國の一部分 羽後國の大部分	秋田市
岩手縣	陸前國の一部分 陸奥國の一部分	盛岡市	山形縣	羽前國 羽後國の一部分	山形市
靜岡縣	駿河國 伊豆國の大部分 遠江國	靜岡市	山梨縣	甲斐國	甲府市
愛知縣	尾張國 三河國	名古屋市	長野縣	信濃國	長野市
岐阜縣	美濃國 飛驒國	岐阜市	新潟縣	越後國 佐渡國	新潟市
			富山縣	越中國	富山市

三 中部地方

四 近畿地方

石川縣	加賀國 能登國	金澤市	福井縣	越前國 若狹國	福井市
滋賀縣	近江國 山城國	大津市	奈良縣	大和國	奈良市
京都府	丹波國の大部分 丹後國	京都市			
大阪府	攝津國の大部分 河内國 和泉國	大阪市	和歌山縣	紀伊國の大部分	和歌山市
兵庫縣	攝津國の一部分 丹波國の一部分 但馬國 播磨國 淡路國	神戸市	三重縣		津市

五 中國地方

府縣名	管轄區域	府在縣地廳	府縣名	管轄區域	府在縣地廳
岡山縣	備前國 備中國 美作國	岡山市	島根縣	出雲國 石見國 隱岐國	松江市
廣島縣	安藝國 備後國	廣島市	鳥取縣	因幡國 伯耆國	鳥取市
山口縣	周防國 長門國	山口市			
六 四國地方					
德島縣	阿波國	德島市	愛媛縣	伊豫國	松山市
香川縣	讃岐國	高松市	高知縣	土佐國	高知市
七 九州地方					
福岡縣	筑前國 筑後國 豐前國の一部分	福岡市	佐賀縣	肥前國の一部分	佐賀市

尋地一

鹿兒島縣	薩摩國 大隅國	鹿兒島市	熊本縣	肥後國	熊本市
宮崎縣	日向國	宮崎市	大分縣	豐後國 豐前國の一部分	大分市
長崎縣	肥前國の一部分 壹岐國 對馬國	長崎市	沖繩縣	琉球國	那霸市

昭和十三年三月二十三日印
昭和十三年三月二十五日發行
昭和十三年三月二十五日翻刻印
昭和十三年四月五日翻刻發行

尋常小學地理書卷一

定價金拾壹錢

著作權所有

著作兼
發行者

文
部
省

昭和十三年三月二十六日

文部省檢査濟

翻刻發行
兼印刷者

代表者
大橋光吉

印刷所

東京市小石川區久堅町百八番地
日本書籍株式會社工場

發行所

日本書籍株式會社